



# 手間なし積算編

# 目次

## 1 手間なし積算 \_\_\_\_\_ 3

1-1 手間なし積算の概要 _____	3
手間なし積算の基本的な流れ _____	3
集計対象のデータ _____	3
1-2 マスタ・図面データの確認 _____	4
マスタを確認する _____	4
図面データを確認する _____	4
1-3 自動集計 _____	6
手間なし積算を起動する _____	6
ツリーパネルの分類について _____	7
明細の表示色・マークについて _____	7
明細の部位と工事区分を確認する _____	8
明細詳細パネルを確認する _____	8
数量根拠を立体で確認する _____	9
[補足] 数量の算定方法 _____	9
1-4 初期設定の確認・変更 _____	10
専用初期設定を確認する _____	10
1-5 明細の編集とテンプレート保存 _____	11
明細を変更する _____	11
掛率を使って単価を設定する _____	12
テンプレートに保存する _____	13
再集計する _____	14
集計結果を確認する _____	14
1-6 明細の追加（計算式の組み方） _____	15
防水工事に明細を追加する _____	15
計算式を組む _____	15
[補足] 最低金額について _____	17
1-7 金額の確認 _____	18
表示を切り替える _____	18
金額を確認する _____	19
集約情報を確認する _____	19
1-8 データの保存 _____	20
テンプレートに保存する _____	20
データを保存する _____	20
[補足] 集計された明細の表示を切り替えるには _____	20

1-9 見積書の作成 _____	21
A : ARCHITREND 見積を使って見積書を作成する _____	21
ARCHITREND 見積へ出力する _____	21
変換された見積データを確認する _____	21
見積書を印刷する _____	22
見積データを保存する _____	22
B : Excel を使って見積書を作成する _____	23
Excel 見積へ出力する _____	23
[補足] Excel への出力 _____	23
見積書の内容を確認する _____	24
見積書を印刷する _____	25
Excel データを保存する _____	25
[補足] 他社の見積システムへの変換 _____	26

## 2 自社用テンプレートの作成 \_\_\_\_\_ 27

2-1 自動集計 _____	28
[補足] 白紙からテンプレートを作成するには _____	28
2-2 工事区分の作成 _____	29
2-3 [明細の追加] 定数値を使用 _____	30
2-4 [明細の追加] 条件無し計算式を使用 _____	31
2-5 [明細の追加] 条件付き計算式を使用 _____	32
2-6 [明細の追加] 論理式を使用 _____	35
2-7 自動集計項目への工事区分の割り当て _____	37
2-8 データの保存 _____	38

## 3 テンプレートとマスタの関係 \_\_\_\_\_ 39

3-1 テンプレートとマスタ No の関係 _____	39
[補足] 建具の集計条件について _____	43
3-2 部屋マスタの設備情報 _____	44
3-3 明細の名称と摘要の連動 _____	45
3-4 数量と単位換算 _____	46
付録 1 仕上の異なる外壁仕上を別々に集計するには _____	47
付録 2 手間なし積算でマスタ No を変更して 図面に反映するには _____	50
付録 3 自動集計される項目 _____	52

## 1

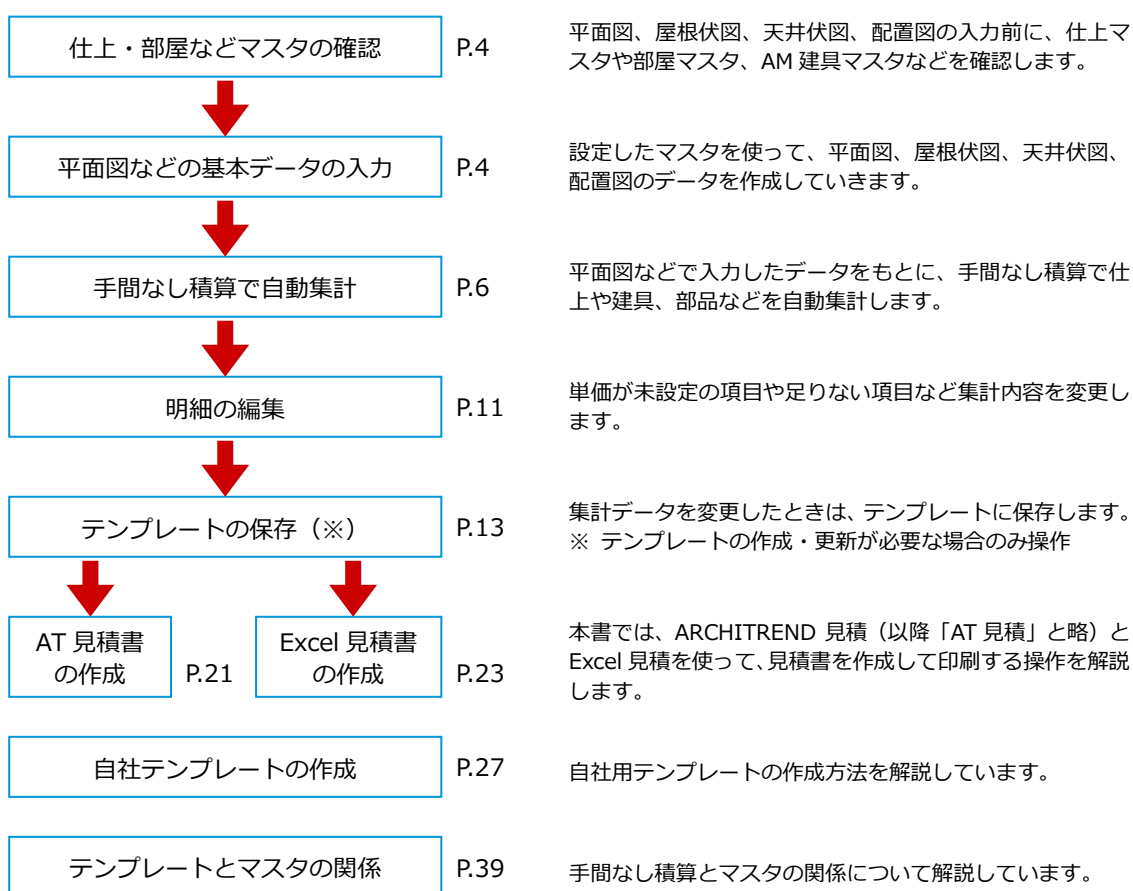
# 手間なし積算

手間なし積算は、平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図のデータを入力するだけで積算できるプログラムです。手間なし積算で仕上、建具、部品などを自動集計し、見積書を作成してみましょう。

## 1-1 手間なし積算の概要

### 手間なし積算の基本的な流れ

次のフロー図は、手間なし積算の基本的な流れと、本マニュアルでの各項目の解説内容を示したものです。

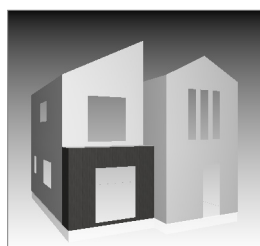


### 集計対象のデータ

手間なし積算では、平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図のデータから仕上などの数量を自動集計します。単価は、手間なし積算で設定します。

#### 例) 外壁仕上の場合

⇒ 自動集計されるデータについては、P.52 参照



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見イ
<input checked="" type="checkbox"/>	1 外部 巾木仕上	左官...	基礎モル外刷毛引	材工共	14.0500	m <sup>2</sup> [014]	3,200	4,300	
<input type="checkbox"/>	2 外部 巾木仕上手間	左官...			14.0500	m <sup>2</sup> [014]	0	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	3 外部 水切	外装...	土台水切り	カー鉄板	33.4500	m[013]	2,000	2,700	
<input checked="" type="checkbox"/>	4 外部 水切手順	外装...	土台水切り取付		33.4500	m[013]	300	450	
<input checked="" type="checkbox"/>	5 外部 壁仕上	外装...	サイディング	スタック間 16mm	182.0000	m <sup>2</sup> [014]	4,300	5,730	
<input checked="" type="checkbox"/>	6 外部 壁仕上手間	外装...	サイディング施工手順	横張り	182.0000	m <sup>2</sup> [014]	1,950	2,450	
<input checked="" type="checkbox"/>	7 外部 壁下地 1	木工...	通気胴縁		182.0000	m <sup>2</sup> [014]		270	
<input checked="" type="checkbox"/>	8 外部 壁下地 2	建材...	外壁下地		75.0000	m <sup>2</sup> [014]			
<input checked="" type="checkbox"/>	9 外部 壁下地手順	木工...	外壁下地						

平面図から外壁仕上の数量が集計される

外壁仕上などの単価は手間なし積算で設定

# 1-2 マスタ・図面データの確認

## マスタを確認する

平面図などの図面は、内壁仕上マスタや部屋マスタを使ってデータを作成していきます。図面を作成する前に、これらのマスタがきちんと設定されているか確認しておきましょう。手間なし積算に関するマスタは次の通りです。

手間なし積算では、積算用マスタを最初に構築する必要がありません。  
※ AM 単位マスタのみ新規作成時に連動します。

設定したマスタを使って、平面図などを作成します。

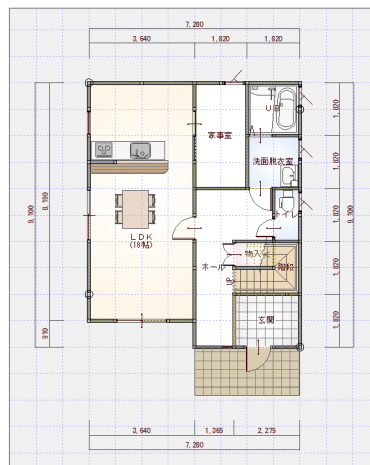
工事区分や単価は手間なし積算で設定します。

## 図面データを確認する

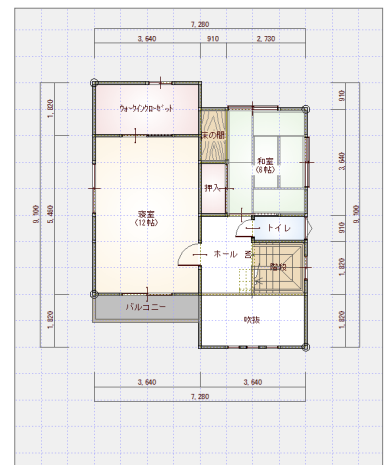
平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図を開いて、各データがきちんと作成されているかを確認しましょう。  
※ 本書では、出荷標準のマスタを使って、次の図面（プラン作成編の物件）を作成したものととして解説します。

### － 平面図を確認する －

平面図の各階を開いて、データを確認しましょう。



【1階 平面図】



【2階 平面図】

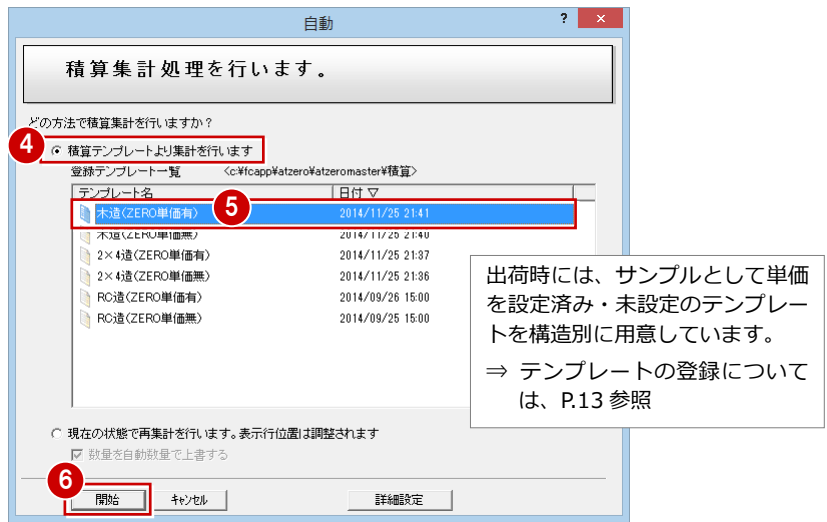


# 1-3 自動集計

平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図で入力したデータをもとに、手間なし積算で仕上、建具、部品などを自動集計し、明細項目や数量根拠を確認してみましょう。

## 手間なし積算を起動する

- ① [処理選択] ダイアログの [積算] タブをクリックします。
- ② [手間なし積算] をダブルクリックします。
- ③ [図面選択] ダイアログで [No.01] をダブルクリックします。
- ④ [自動] ダイアログで [積算テンプレートより集計を行います] にチェックが入っていることを確認します。
- ⑤ 使用する積算テンプレートを選びます。  
ここでは、「木造 (ZERO 単価有)」を選びます。
- ⑥ [開始] をクリックします。  
集計結果が表示されます。



## 積算表示

【基本】【外部】【部屋・建具・部品】の各部位ごとに積算項目を表示します。工事区分の追加、移動、削除、名称変更や、明細項目の編集が可能です。

【基本】

【外部】

【部屋・建具・部品】



## ツリーパネルの分類について

自動集計後は、ツリーパネルの【基本】【外部】【部屋・建具・部品】に、基本図面で入力したデータが分類されます。

ツリー	自動集計の有無	説明
【基本】 仮設工事 解体工事など	△ (図面から自動集計 されない)	工事区分を作成する場所です。(⇒ 工事区分の作成については、P.29 参照) 「仮設工事」の「外部足場損料」のように、部屋線外部長、軒高など、その数量の根拠となるものから計算式を組むことで、図面にはないデータも集計できます。これをテンプレートに保存しておくことで、次回から集計可能となります。
【外部】 屋根伏図 天井伏図など	○ (図面から自動集計 される)	「平面図」「屋根伏図」などの図面に分類し、図面を入力されている外壁仕上、バルコニー、ポーチ、屋根など外部データを自動集計する場所です。
【部屋・建具・部品】 ホール 寝室など	○ (図面から自動集計 される)	階別・部屋別に分類し、内壁仕上、腰壁、巾木、床仕上、天井仕上、建具、部品など部屋内部データを自動集計する場所です。 なお、ツリー最終行に表示される「<<未使用>>」は、テンプレートには存在するが、平面図には入力されていない部屋です。

## 明細の表示色・マークについて

セルで表示される集計項目の表示色やマークは、次の内容を表します。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	
1	基本	仮設...	水盛り・遣方		62.9000	m <sup>2</sup> [014]	500	} 黒色
2	基本	仮設...	外部足場損料	枠組足場	263.7000	m <sup>2</sup> [014]	900	
3	基本	仮設...	屋根足場損料	6寸以上	0.0000	m <sup>2</sup> [014]	800	
4	基本	仮設...	足場養生ネット	イマーシート別途	263.7000	m <sup>2</sup> [014]	350	
5	基本	仮設...	内部足場	脚立設置	0.0000	m <sup>2</sup> [014]	250	
6	基本	仮設...	内部吹抜け足場	鋼管組	6.6200	m <sup>2</sup> [014]	3,100	} 緑色
7	基本	仮設...	仮設トイレ	簡易水洗 3ヶ月	1.0000	式[021]	30,000	
8	基本	仮設...	仮設電気	引込設置 撤去 申請	1.0000	式[021]	30,000	
9	基本	仮設...	仮設水道	水道接続	1.0000	式[021]	28,000	} 灰色
1	屋根仕上	屋根...	ガルバリウム鋼板葺き		0.0000	m <sup>2</sup> [014]	4,500	
2	屋根仕上手間	屋根...	ガルバリウム鋼板施工費		0.0000	m <sup>2</sup> [014]	1,800	
3	屋根下地 1	屋根...	ルーフィング下地野地板	コムス系 23Kg	0.0000	m <sup>2</sup> [014]	900	} 赤色
	生産図 部品	住宅...	ユニットポスト1		1.0000	ヶ所[030]	0	
	生産図 部品 手間	住宅...			1.0000	ヶ所[030]	0	
	生産図 部品 1	住宅...			1.0000	ヶ所[030]	0	

積算しない項目は [No] のチェックをはずします。

● 図面から集計された明細がテンプレートに存在しない項目には、[部位] に★マークが表示されます。

文字色	説明
黒色	テンプレートに項目と単価が設定されていて、図面から数量も集計されているとき、黒色になります。 項目が黒色のとき、見積書まで連動可能となります。 ⇒ 数量、単価などは確認が必要です。
赤色	[数量] [見積単価] のどちらかの項目が 0 のとき、赤色になります。 ⇒ [数量] または [見積単価] の入力が必要です。
灰色	テンプレートには項目が存在するが、図面にはデータが配置されていないため、集計されなかった項目 ([数量] が 0) のとき、灰色になります。 ⇒ データが配置されていなくても、この項目を積算したい場合は、[数量] [見積単価] を入力することで、積算できます (黒色に変化)。
緑色	[No] のチェックがはずれているとき、緑色となり、取り消し線が表示されます。この項目の金額は合計金額に入りません (積算対象外)。 ⇒ 積算対象とするときは、チェックを付けて、[数量] または [見積単価] を確認します。

※ 【基本】では、数量が 0 や単価が未入力 (0 円) の項目の文字は赤色になります。

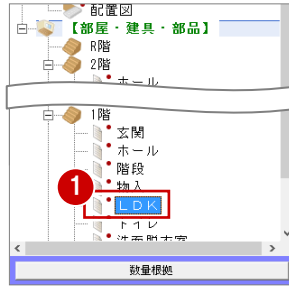
【外部】【部屋・建具・部品】では、数量が 0 のものは、図面にデータがないため文字が灰色になり、単価が未入力 (0 円) のときのみ赤色になります。

## 1 手間なし積算

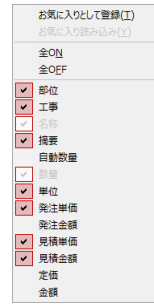
### 明細の部位と工事区分を確認する

LDK を例に、明細項目を確認しましょう。

- 1 ツリーから【部屋・建具・部品】の「1階」にある「LDK」を選びます。
- 2 集計された項目の部位、工事区分、名称、摘要、数量、単価などを確認します。



明細項目部分を右クリックすると、表示する明細項目を変更できます。表示したい項目にチェックを付けます。



### 【自動数量】と【数量】セル

数量には2種類のセルがあります。

自動数量	図面のデータから自動集計された数量が入ります(編集不可)。
数量	【自動数量】の編集用です。自動集計直後は【自動数量】と同じ数量が入りますが、【数量】は変更できます。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積
1	床仕上	新建...	床フローリング	t=15	8,560.00	ケース[044]	13,500	
2	床仕上手間	木工...	床フローリング施工手間		28,300.00	m <sup>2</sup> [014]	500	
3	巾木仕上(m)	新建...	壁巾木	既成品	25,250.00	m[013]	350	
4	巾木仕上(m)手間	木工...	壁巾木施工手間		25,250.00	m[013]	150	

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積
1	床仕上	新建材工事	床フローリング	t=15	8,560.00	ケース	13,500	
2	床仕上手間	木工工事手間	床フローリング施工手間		28,300.00	m <sup>2</sup>	500	
3	巾木仕上(m)	新建材工事	壁巾木	既成品	25,250.00	m	350	
4	巾木仕上(m)手間	木工工事手間	壁巾木施工手間		25,250.00	m	150	

【工事】の表示幅

【工事】は、項目をクリックするごとに表示幅が切り替わります。

### 明細詳細パネルを確認する

セルで選択している明細の詳細は、詳細パネルで確認できます。

- 1 セルの集計項目をクリックします。
- 2 セル下部の【詳細】をクリックします。選択した明細の計算根拠を確認します。

⇒ 集計とマスタ No の関係については、P.39 参照

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積
1	床仕上	新建...	床フローリング	t=15	8,560.00	ケース[044]	13,500	
2	床仕上手間	木工...	床フローリング施工手間		28,300.00	m <sup>2</sup> [014]	500	
3	巾木仕上(m)	新建...	壁巾木	既成品	25,250.00	m[013]	350	
4	巾木仕上(m)手間	木工...	壁巾木施工手間		25,250.00	m[013]	150	
5	巾木下地(m)1	建材...			25,250.00	m[013]	0	
6	巾木下地(m)2	建材...			25,250.00	m[013]	0	
7	巾木下地(m)手間	木工...			25,250.00	m[013]	0	
8	壁仕上	内装...	壁ビニールクロス	AAクロス	52,400.00	m <sup>2</sup> [014]	850	
9	壁仕上手間	内装...	壁ビニールクロス貼り手間		52,400.00	m <sup>2</sup> [014]	850	
10	壁下地1	建材...	壁石膏ボード	3×8 t=12.5	25,000.00	枚[045]	590	

- 3 補給率や最低金額を確認するときは、【コード】をクリックします。

### 補給率とは

例えば、クロスなどを多めに拾いたい場合は、【補給率】を「1.10 (=110%)」のように設定します。特に必要がない場合は、補給率=1.00 で使用します。

- 4 【コード】をクリックして、拡張画面を開いておきましょう。

⇒ 最低金額については、P.17 参照

自動的に集計された数量が入ります(編集不可)。

【自動数量】を変更したいときは値を入力します。この値が【数量】セルに表示されます。

【自動数量】の計算根拠が示されます。

【マスタNo.1ビニールクロス】【実データ数量を計算】  
【m<sup>2</sup>単位換算】⇒【補給率】⇒【丸め2桁四捨五入】  
52,3970 / 1,0000 実数 ⇒ 52,3970 \* 1.00 ⇒ 52,3970 ⇒ 52,4000

【マスタNo.1ビニールクロス】【実データ数量を計算】  
【m<sup>2</sup>単位換算】⇒【補給率】⇒【丸め2桁四捨五入】  
52,3970 / 1,0000 実数 ⇒ 52,3970 \* 1.00 ⇒ 52,3970 ⇒ 52,4000

最低金額(金額が下回った時に採用される金額)  
発注 0 見積 0 定価

補給率 1.00 備考

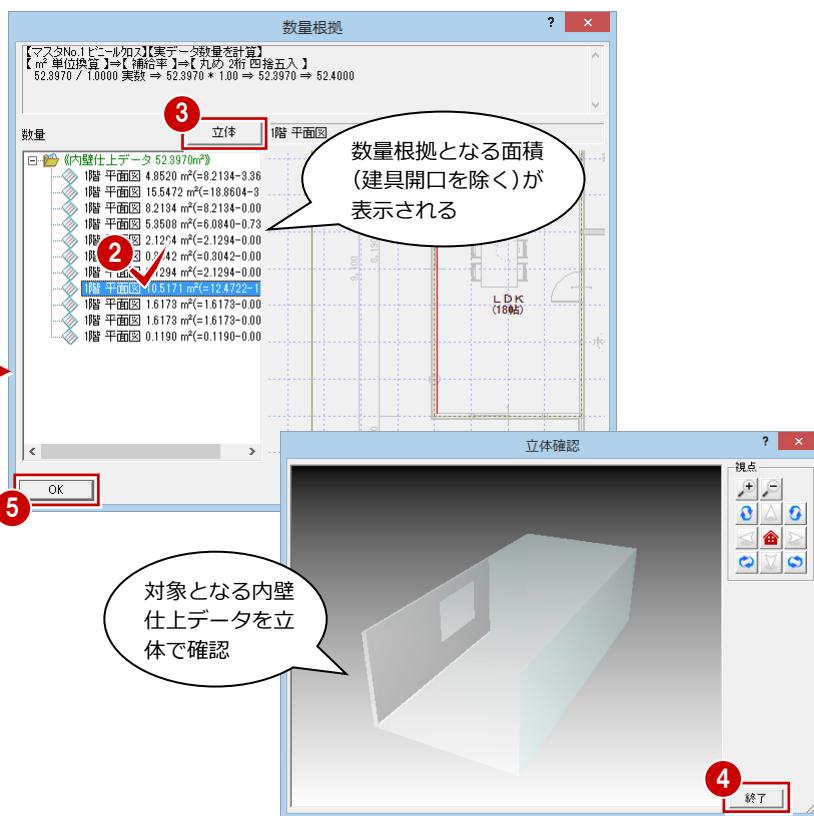
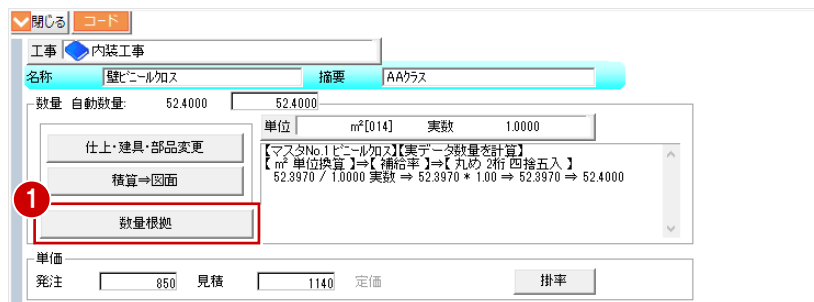
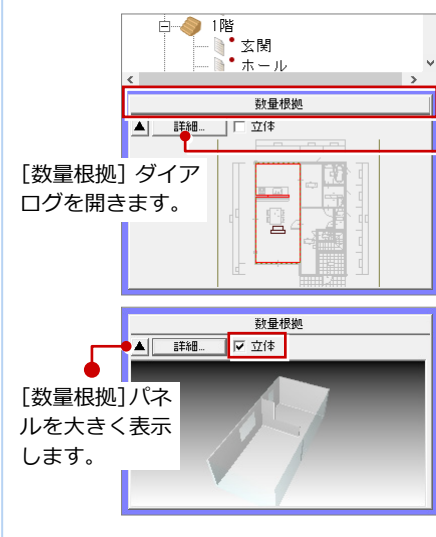
コード  
部材 建設資機材  
要素 発注



## 数量根拠を立体で確認する

- 1 [数量根拠] をクリックします。
- 2 ツリーから確認するデータを選び、右の平面モニターでデータを確認します。
- 3 [立体] をクリックします。
- 4 立体を確認して、[終了] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックして、数量根拠のダイアログを閉じます。

ツリーパネルから数量根拠を確認するにはツリーパネル下部の [数量根拠] をクリックしても、図面と立体の数量根拠を確認できます。[立体] が OFF のときは図面を、ON のときは立体を確認できます。

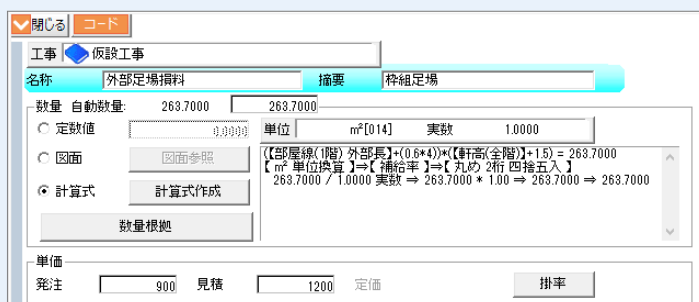


## 【補足】数量の算定方法

自動集計するものとししないものでは、明細詳細パネルの設定が異なります。

内壁仕上のように、平面図の入力データ (仕上データ) から自動集計できるものは、上図のような詳細パネルになります。一方、「仮設工事」の「外部足場損料」のように、平面図などの図面にデータがないために自動集計できないものは、下図のような詳細パネルになります。自動集計されないものは、明細詳細パネルに [定数値] [図面] [計算式] オプションが表示され、自動集計されない場合でも、この3つの算定方法を使って求めたい数量を算出できます。

算定方法	説明
定数値	固定の数量とするときに使用します。ここで入力した数値は [自動数量] に反映されます。
図面	図面参照ウィンドウを利用して、図面に直接手入力して数量の根拠となる長さや面積を指定します。ここで入力した数値は [自動数量] に反映されます。
計算式	[計算式登録] の数量コードを利用し、計算式から数量を求めるときに使用します。 ⇒ 設定例については、P.16 参照

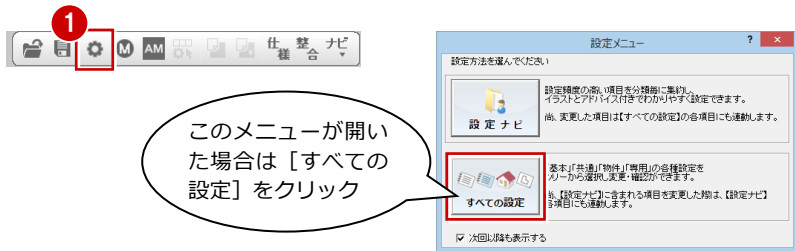


# 1-4 初期設定の確認・変更

[専用初期設定] ダイアログで、自動集計や画面表示の条件などの設定を確認しておきましょう。  
設定を変更した場合は、再度自動集計を実行します。

## 専用初期設定を確認する

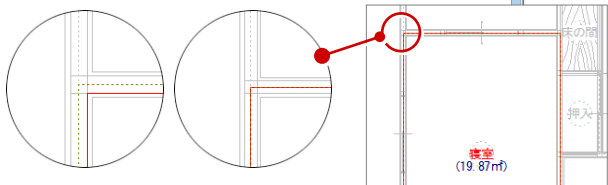
① [設定] をクリックします。



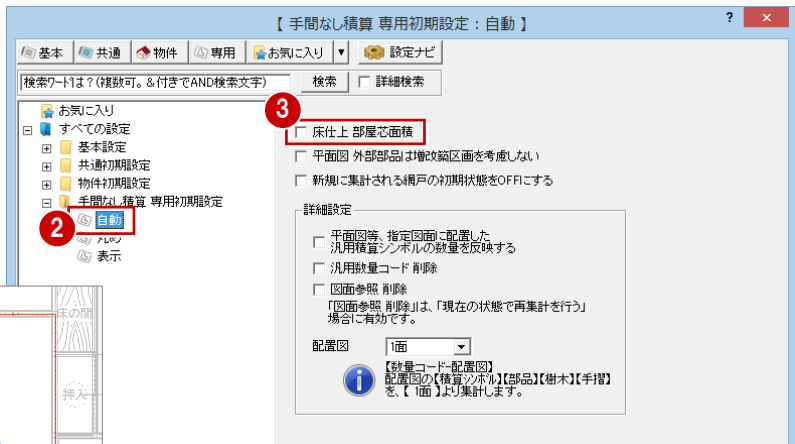
## - 自動集計の条件を確認する -

② ツリーから「自動」を選びます。

③ 床仕上面積の集計条件を確認します。  
実際の床面積（有効床面積）で算出するときは [床仕上 部屋芯面積] を OFF、部屋芯で算出するときは ON にします。



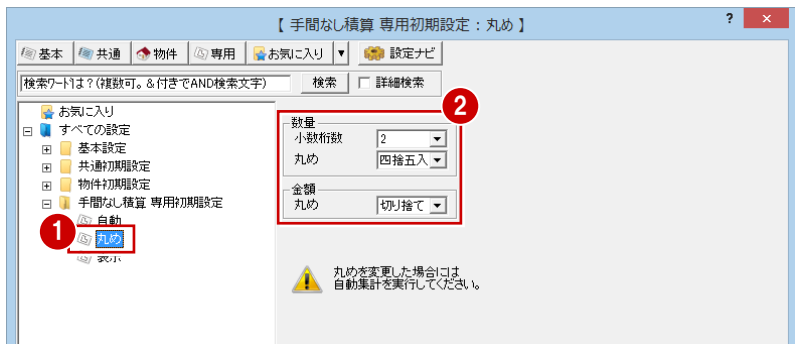
【OFF の場合】 【ON の場合】



## - 数量・金額の丸めを確認する -

① ツリーから「丸め」を選びます。

② 自動数量・数量の小数桁数（0～4）と丸め方法、および明細項目の金額（数量×単価）の丸め方法を確認します。



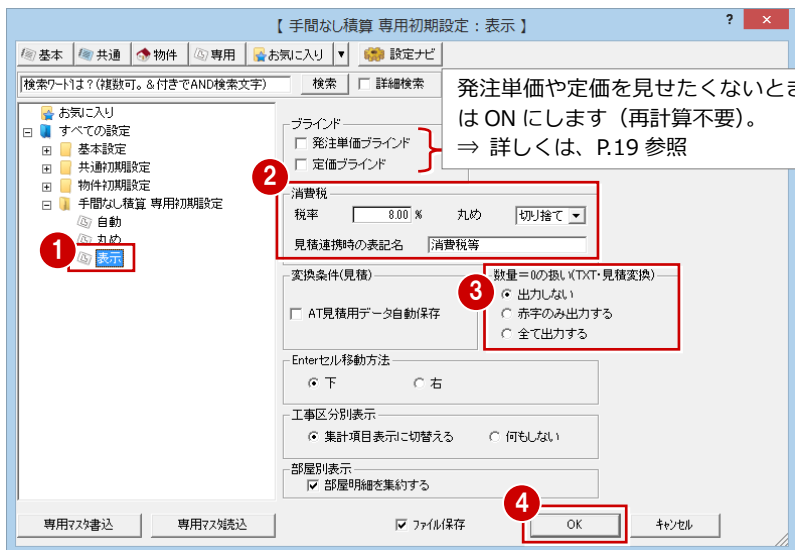
## - 画面表示の条件を確認する -

① ツリーから「表示」を選びます。

② 消費税の税率と丸め方法を確認します。

③ 見積出力時に、数量が 0 の項目をどう扱うか確認します。

出力しない	数量が 0 の明細行はすべて出力しません。
赤字のみ出力する	文字色が赤色の明細行は出力し、灰色の明細行は出力しません。
全て出力する	文字色が赤色や灰色の明細行もすべて出力します。



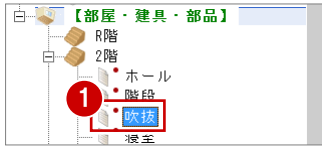
④ [OK] をクリックします。

# 1-5 明細の編集とテンプレート保存

ここでは、明細や単価が未入力のものをつか修正し、これをテンプレートに保存してみましょ。さらに、その更新したテンプレートを使って再集計し、テンプレートの役割を確認してみましょ。

## 明細を変更する

2階吹抜には同じ建具（Fix）が3か所あり、各部位の明細や単価が未入力になっています。このうちの1か所を変更してみましょ。



### - 単価を変更する -

- ツリーから【部屋・建具・部品】の「2階」にある「吹抜」を選びます。
- Fixの「金属建具 1」のセルに、次のように直接単価を入力します（1か所のみ）。  
 【発注単価】：29600  
 【見積単価】：37000

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
21	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	0	0	
22	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
23	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
24	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
25	金属建具 下枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
26	金属建具 左右枠(m)	新建...			4.1500	m[013]	0	0	
27	金属建具 上枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
28	金属建具 枠手間	木工...			1.0000	組[024]	0	0	
29	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	0	0	
30	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
31	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
32	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
33	金属建具 下枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
34	金属建具 左右枠(m)	新建...			4.1500	m[013]	0	0	
35	金属建具 上枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
36	金属建具 枠手間	木工...			1.0000	組[024]	0	0	
37	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	0	0	
38	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
39	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
40	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
41	金属建具 下枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
42	金属建具 左右枠(m)	新建...			4.1500	m[013]	0	0	
43	金属建具 上枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
44	金属建具 枠手間	木工...			1.0000	組[024]	0	0	
45	設備	電気...	照明配線	ツブツブ、フラット	1.0000	億[023]	2,300	3,100	

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
21	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	
22	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
23	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
24	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
25	金属建具 下枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	

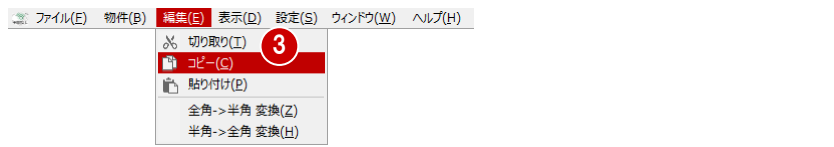
### - 明細項目を複写する -

ここでは、「手間」や「枠」などの明細の内容を、他の部屋の建具から複写しましょ。



- ツリーから「2階」の「寝室」を選びます。
- 2枚引違窓の「金属建具 手間」の【名称】セルから「金属建具 枠手間」の【見積単価】セルまでをドラッグして選択します。
- 【編集】メニューから【コピー】を選びます（Ctrl+Cキーでも可能）。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
23	金属建具 1	金属...	2枚引違窓	単体 アルミ樹脂枠	1.0000	組[024]	32,490	40,620	
24	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
25	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
26	金属建具 手間	木工...	外部建具取付手間	W1800まで	1.0000	組[024]	1,500	2,000	
27	金属建具 下枠(m)	新建...	無目枠	ケーシング付	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
28	金属建具 左右枠(m)	新建...	無目枠	ケーシング付	19,400	m[013]	2,300	2,900	
29	金属建具 上枠(m)	新建...	無目枠	ケーシング付	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
30	金属建具 枠手間	木工...	窓枠施工手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
31	網戸	金属...	網戸	アルミ樹脂 w1650	1.0000	組[024]	15,000	20,000	



- ツリーから「2階」の「吹抜」を選びます。
- Fixの「金属建具 手間」の【名称】セルを選択します。
- 【編集】メニューから【貼り付け】を選びます（Ctrl+Vキーでも可能）。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
21	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	
22	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
23	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
24	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
25	金属建具 下枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
26	金属建具 左右枠(m)	新建...			4.1500	m[013]	0	0	
27	金属建具 上枠(m)	新建...			0.4100	m[013]	0	0	
28	金属建具 枠手間	木工...			1.0000	組[024]	0	0	
29	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	0	0	

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
21	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	
22	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
23	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
24	金属建具 手間	金属...	外部建具取付手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
25	金属建具 下枠(m)	新建...	無目枠	ケーシング付	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
26	金属建具 左右枠(m)	新建...	無目枠	ケーシング付	19,400	m[013]	2,300	2,900	
27	金属建具 上枠(m)	新建...	無目枠	ケーシング付	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
28	金属建具 枠手間	木工...	窓枠施工手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
29	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	1.0000	組[024]	0	0	

⇒【行コピー】との違いについては、P.33 参照

※ 数量もコピーされますが、後で再集計を行うため、ここではこのままで構いません。

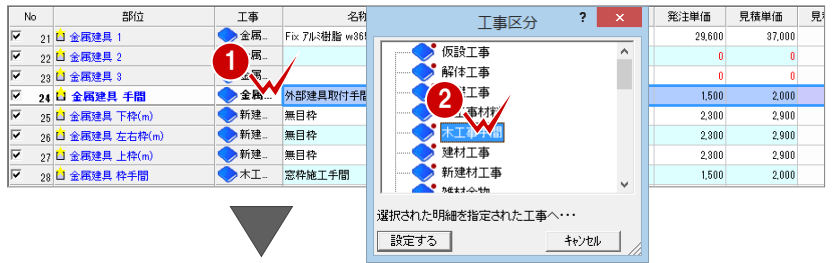
# 1 手間なし積算

## - 工事区分を変更する -

「金属建具 手間」の工事区分を「木工事手間」に変更しましょう。

① Fixの「金属建具 手間」の「工事」セルをダブルクリックします。

② 「工事区分」ダイアログのツリーから「木工事手間」をダブルクリックして選択します。



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
21	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w385h2000	GYFX08620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	見
22	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
23	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
24	金属建具 手間	木工...	外部建具取付手間	W1600まで	1.0000	ヶ所[080]	1,500	2,000	
25	金属建具 下枠(m)	新建	無目枠	ケージ枠含む	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
26	金属建具 左右枠(m)	新建	無目枠	ケージ枠含む	1.9400	m[013]	2,300	2,900	
27	金属建具 上枠(m)	新建	無目枠	ケージ枠含む	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
28	金属建具 枠手間	木工...	窓枠施工手間	W1600まで	1.0000	ヶ所[080]	1,500	2,000	
29	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w385h2000	GYFX08620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	見

## - 積算の有無を変更する -

不要な明細項目を積算対象外に変更しましょう。

① Fixの「金属建具 2」「金属建具 3」のチェックをはずします。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
21	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w385h2000	GYFX08620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	見
22	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
23	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]	0	0	
24	金属建具 手間	木工...	外部建具取付手間	W1600まで	1.0000	ヶ所[080]	1,500	2,000	
25	金属建具 下枠(m)	新建	無目枠	ケージ枠含む	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
26	金属建具 左右枠(m)	新建	無目枠	ケージ枠含む	1.9400	m[013]	2,300	2,900	
27	金属建具 上枠(m)	新建	無目枠	ケージ枠含む	1.7200	m[013]	2,300	2,900	
28	金属建具 枠手間	木工...	窓枠施工手間	W1600まで	1.0000	ヶ所[080]	1,500	2,000	
29	金属建具 1	金属...	Fix アルミ樹脂 w385h2000	GYFX08620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	見

## 掛率を使って単価を設定する

1階のトイレ、洗面脱衣室、UB、家事室には同じ建具（縦すべり）があり、単価が未入力になっています。

ここでは、このうちの1か所の見積単価を、掛率を使って設定してみましょう。

1階 トイレ

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
26	金属建具 1	金属...	縦すべり アルミ樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]			

洗面脱衣室

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
26	金属建具 1	金属...	縦すべり アルミ樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]			

UB

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
7	金属建具 1	金属...	縦すべり アルミ樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]			

家事室

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	発
28	金属建具 1	金属...	縦すべり アルミ樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]			

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
26	金属建具 1	金属...	縦すべり アルミ樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]	23,000	0	
27	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]		0	
28	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]		0	
29	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]		0	
30	金属建具 下枠(m)	新建			0.6400	m[013]		0	
31	金属建具 左右枠(m)	新建			1.5400	m[013]		0	
32	金属建具 上枠(m)	新建			0.8400	m[013]		0	
33	金属建具 枠手間	木工...			1.0000	組[024]		0	
34	網戸	金属...	網戸縦すべり アルミ樹脂 w600h700		1.0000	組[024]	6,480	0	
35	木製建具 1	新建	単体付 Aタイプ	W760_H2030	1.0000	組[024]	54,400	68,000	

① ツリーから「1階」の「洗面脱衣室」を選びます。

② 縦すべりの「金属建具 1」のセルに、次のように直接単価を入力します。  
[発注単価] : 23000

③ 縦すべりの「網戸」のセルに、次のように直接単価を入力します。  
[発注単価] : 6480

④ 「金属建具 1」から「網戸」までの「見積単価」セルをドラッグして選択します。

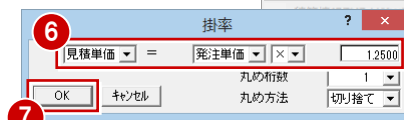
⑤ 右クリックして「掛率」を選びます。

⑥ 「掛率」ダイアログで、次のように計算式を変更します。

$$\text{見積単価} = \text{発注単価} \times 1.25$$

⑦ [OK] をクリックします。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
26	金属建具 1	金属...	縦すべり アルミ樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]	23,000	0	
27	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]		0	
28	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]		0	
29	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]		0	
30	金属建具 下枠(m)	新建			0.6400	m[013]		0	
31	金属建具 左右枠(m)	新建			1.5400	m[013]		0	
32	金属建具 上枠(m)	新建			0.8400	m[013]		0	
33	金属建具 枠手間	木工...			1.0000	組[024]		0	
34	網戸	金属...	網戸縦すべり アルミ樹脂 w600h700		1.0000	組[024]	6,480	0	
35	木製建具 1	新建	単体付 Aタイプ	W760_H2030	1.0000	組[024]	54,400	68,000	



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
26	金属建具 1	金属...	縦すべり アルミ樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]	23,000	28,750	
27	金属建具 2	金属...			1.0000	組[024]		0	
28	金属建具 3	金属...			1.0000	組[024]		0	
29	金属建具 手間	金属...			1.0000	組[024]		0	
30	金属建具 下枠(m)	新建			0.6400	m[013]		0	
31	金属建具 左右枠(m)	新建			1.5400	m[013]		0	
32	金属建具 上枠(m)	新建			0.8400	m[013]		0	
33	金属建具 枠手間	木工...			1.0000	組[024]		0	
34	網戸	金属...	網戸縦すべり アルミ樹脂 w600h700		1.0000	組[024]	6,480	8,100	
35	木製建具 1	新建	単体付 Aタイプ	W760_H2030	1.0000	組[024]	54,400	68,000	

## テンプレートに保存する

変更した明細を次回からも使用できるようにテンプレートに保存します。

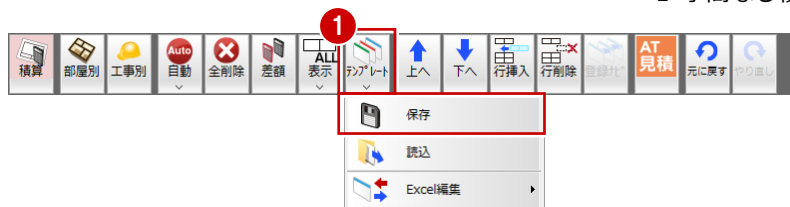
① [テンプレート] メニューから [保存] を選びます。

同じ建具において、異なる明細や単価が存在するため、[優先順位設定] ダイアログが開きます。

② テンプレートに保存する方の明細を選びます。

ここでは、Fix の「金属建具 2」「金属建具 3」が積算対象外になっている側の [優先] にチェックを入れます。残りは、明細の内容や単価が設定されている側にします。

③ [OK] をクリックします。



例えば、この「金属建具 1」についてみましょう。

P.11 で、同じ建具が 3 か所ある中の 1 つだけ [発注単価] [見積単価] を変更したため、同じ建具で発注単価が「29600」と「0」の 2 つの積算情報が存在することになります。

部位	工事	優先	名称	摘要	単位	発注単価	見積単価
□ 金属建具 1	金属...	<input checked="" type="radio"/>	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	組[024]	29,600	37,000
	金属...	<input type="radio"/>	Fix アルミ樹脂 w365h2000	GYFX03620WH	組[024]	0	0

1 つの明細に複数の単価はテンプレートに保存できないため、どちらの単価をテンプレートに保存するかを選択します。

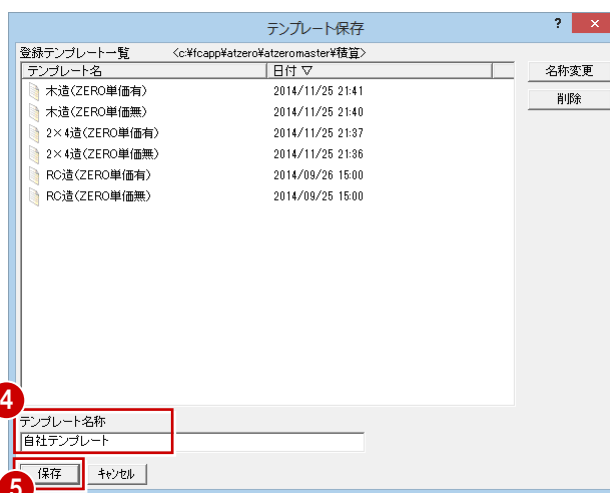
④ [テンプレート保存] ダイアログの [テンプレート名称] にテンプレート名称を入力します。

⑤ [保存] をクリックします。

### 積算対象外の項目について

明細のチェックをはずして「積算対象外」に設定し、テンプレート保存した場合、同じ建具が入力された物件で同じテンプレートを使用すると、その明細項目は積算対象外として集計されます。

今後その項目が不要な場合は、明細を削除して、テンプレート保存してください。

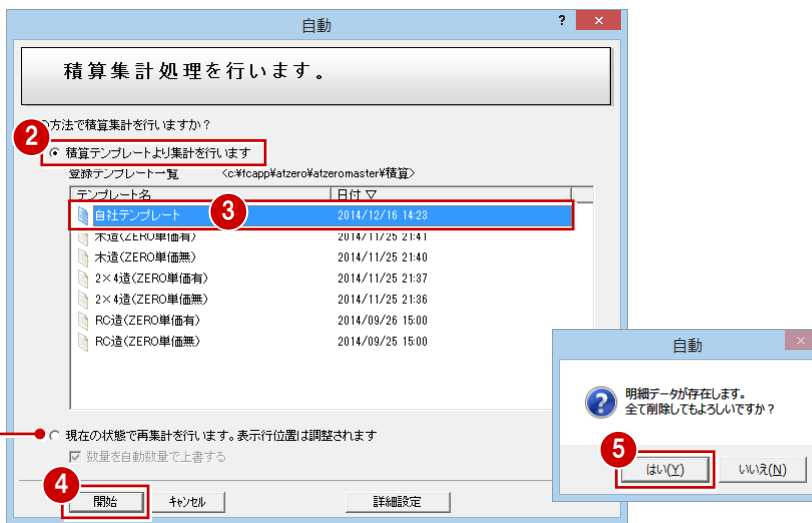


# 1 手間なし積算

## 再集計する

保存した自社テンプレートを使って、再集計します。

- 1 [自動] メニューから [自動集計] を選びます。
- 2 [積算テンプレートより集計を行います] にチェックが入っていることを確認します。
- 3 保存したテンプレートを選びます。
- 4 [開始] をクリックします。
- 5 削除の確認画面で、[はい] をクリックします。



集計後に明細の金額や明細項目などを変更した場合で、図面データに変更があるため数量を集計し直したいときは、[現在の状態で再集計を行います] を使用します。明細の変更をそのまま残した状態で、新しいデータから数量を再集計できます。

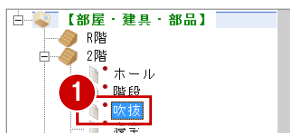
このとき、[数量] を手動で変更して [自動数量] で上書きしたくない場合は、[数量を自動数量で上書きする] を OFF にすると、[自動数量] は変更されますが [数量] は元の数値のまま残ります。

⇒ [自動数量] と [数量] については、P.8 参照

## 集計結果を確認する

2階吹抜のFixや、1階トイレなどの縦すべりの明細を確認します。

- 1 ツリーから「2階」の「吹抜」を選びます。
- 2 残りの2か所のFixにも、各部位の明細や単価が入っていることを確認します。また、「金属建具 2」「金属建具 3」は「積算対象外」になったことを確認します。



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
21	金属建具 1	金属	Fix 7A-3樹脂 w365h2000	GYFX08620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	見
22	金属建具 2	金属			1.0000	組[024]	0	0	
23	金属建具 3	金属			1.0000	組[024]	0	0	
24	金属建具 手間	木工	外部建具取付手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
25	金属建具 下枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	0.4100	m[013]	2,300	2,900	
26	金属建具 左右枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	4.1500	m[013]	2,300	2,900	
27	金属建具 上枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	0.4100	m[013]	2,300	2,900	
28	金属建具 枠手間	木工	窓枠施工手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
29	金属建具 1	金属	Fix 7A-3樹脂 w365h2000	GYFX08620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	見
30	金属建具 2	金属			1.0000	組[024]	0	0	
31	金属建具 3	金属			1.0000	組[024]	0	0	
32	金属建具 手間	木工	外部建具取付手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
33	金属建具 下枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	0.4100	m[013]	2,300	2,900	
34	金属建具 左右枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	4.1500	m[013]	2,300	2,900	
35	金属建具 上枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	0.4100	m[013]	2,300	2,900	
36	金属建具 枠手間	木工	窓枠施工手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
37	金属建具 1	金属	Fix 7A-3樹脂 w365h2000	GYFX08620WH	1.0000	組[024]	29,600	37,000	見
38	金属建具 2	金属			1.0000	組[024]	0	0	
39	金属建具 3	金属			1.0000	組[024]	0	0	
40	金属建具 手間	木工	外部建具取付手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
41	金属建具 下枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	0.4100	m[013]	2,300	2,900	
42	金属建具 左右枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	4.1500	m[013]	2,300	2,900	
43	金属建具 上枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	0.4100	m[013]	2,300	2,900	
44	金属建具 枠手間	木工	窓枠施工手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]	1,500	2,000	
45	設備	電気	照明配線	ケージが、アラート	1.0000	個[023]	2,300	3,100	見

再集計することで、同じ建具すべての明細に、テンプレートの内容の単価、積算の有無を反映できます。

- 3 同様に、「1階」の「トイレ」「UB」「家事室」の縦すべりの単価を確認しましょう。

1階 トイレ

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
26	金属建具 1	金属	縦すべり 7A-3樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]	23,000	28,750	見
34	網戸	金属	網戸縦すべり 7A-3樹脂 w600h700		1.0000	組[024]	6,480	8,100	

UB

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
7	金属建具 1	金属	縦すべり 7A-3樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]	23,000	28,750	見
15	網戸	金属	網戸縦すべり 7A-3樹脂 w600h700		1.0000	組[024]	6,480	8,100	

家事室

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
23	金属建具 1	金属	縦すべり 7A-3樹脂 w600h700	GYTS06007WH	1.0000	組[024]	23,000	28,750	見
31	網戸	金属	網戸縦すべり 7A-3樹脂 w600h700		1.0000	組[024]	6,480	8,100	

## 1-6 明細の追加（計算式の組み方）

【外部】の「平面図」には、バルコニー床の防水の明細項目があります。

ここでは、バルコニー立ち上がり部分 300 mm について、同じ防水の明細項目を、登録ナビ機能を使って追加してみましょう。

⇒ 詳細パネルを使った明細項目の追加については、P.31 参照



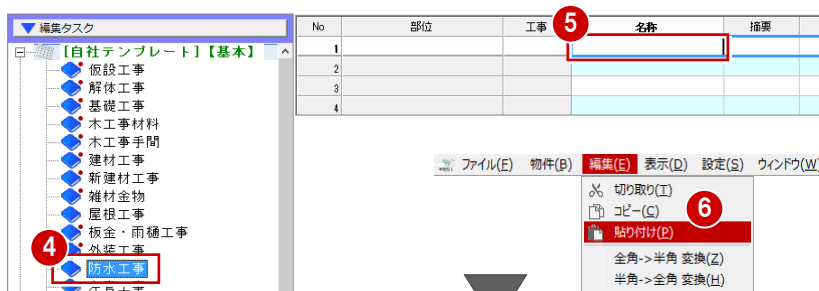
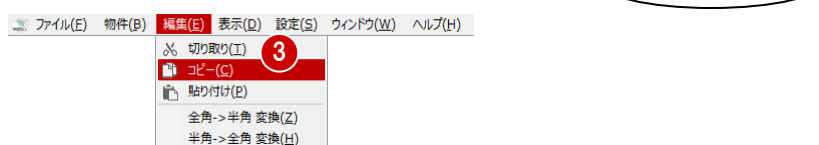
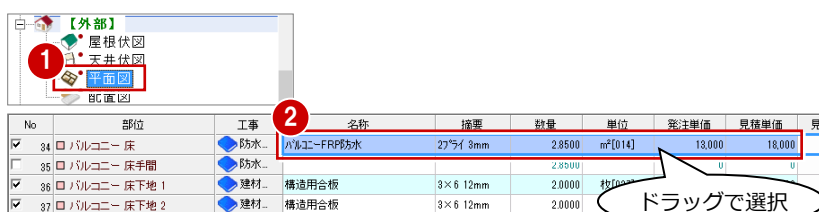
バルコニーの防水立ち上がり部分 300 mm

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見積
34	バルコニー 床	防水	バルコニーFRP防水	275イ 3mm	2.8500	m <sup>2</sup> [014]	13,000	18,000	
35	バルコニー 床手間	防水			2.8500		0	0	
36	バルコニー 床下地 1	建材	構造用合板	3×6 12mm	2.0000	枚[027]	2,000	2,700	
37	バルコニー 床下地 2	建材	構造用合板	3×6 12mm	2.0000	枚[027]	2,000	2,700	

### 防水工事に明細を追加する

【外部】の「平面図」にあるバルコニー床の防水の内容を、【基本】の「防水工事」に複写しましょう。

- ツリーから【外部】の「平面図」を選びます。
- 「バルコニー 床」の [名称] セルから [見積単価] セルまでをドラッグして選択します。
- [編集] メニューから [コピー] を選びます (Ctrl+C キーでも可能)。
- ツリーから【基本】の「防水工事」を選びます。
- 明細を追加したい行の [名称] セルをクリックします。
- [編集] メニューから [貼り付け] を選びます (Ctrl+V キーでも可能)。

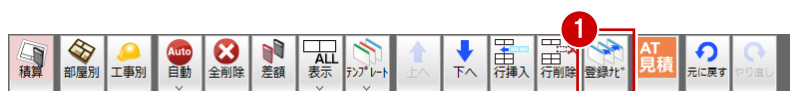


No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見積
1	基本	防水	バルコニー-FRP防水	275イ 3mm	2.8500	m <sup>2</sup> [014]	13,000	18,000	
2									
3									
4									

### 計算式を組む

#### - 登録ナビを起動する -

- 続けて、[登録ナビ] をクリックします。  
[積算情報登録ナビ 1/3] ダイアログが開きます。
- 【外部】の「平面図」の設定内容に合わせて、ここでは [最低金額] を設定します。  
[発注] : 50000  
[見積] : 65000  
⇒ 最低金額については、P.17 参照
- [次へ] をクリックします。



積算情報登録ナビ 1/3

見積書に表示する 名称,摘要,単位,単価,補給率 を登録します。

名称: バルコニー-FRP防水  
摘要: 275イ 3mm  
単位: m<sup>2</sup>[014] 実数: 1.0000

単価  
発注: 13000 見積: 18000 定価: 掛率

最低金額(金額が下回った時に採用される金額)  
発注: 50000 見積: 65000 定価

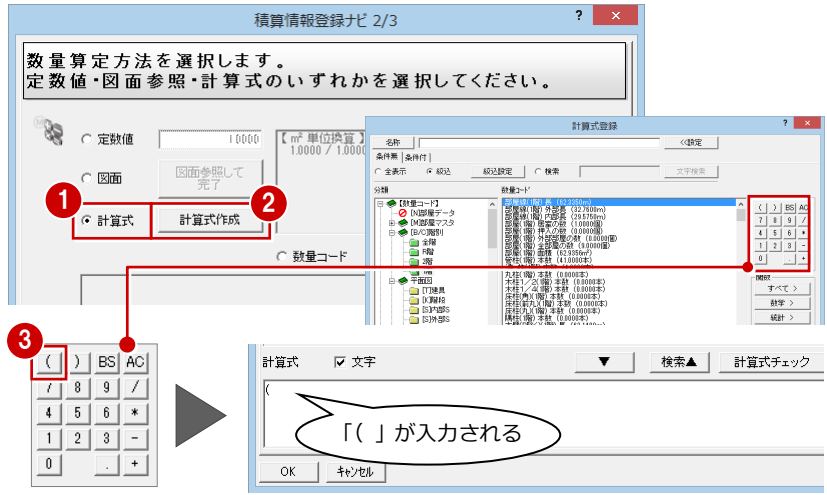
補給率: 1.00 備考

<戻る 次へ > 完了 キャンセル

# 1 手間なし積算

## - 計算式を組む -

- 1 [積算情報登録ナビ 2/3] ダイアログで、[計算式] にチェックを入れます。
- 2 [計算式作成] をクリックします。  
[計算式登録] ダイアログが開きます。

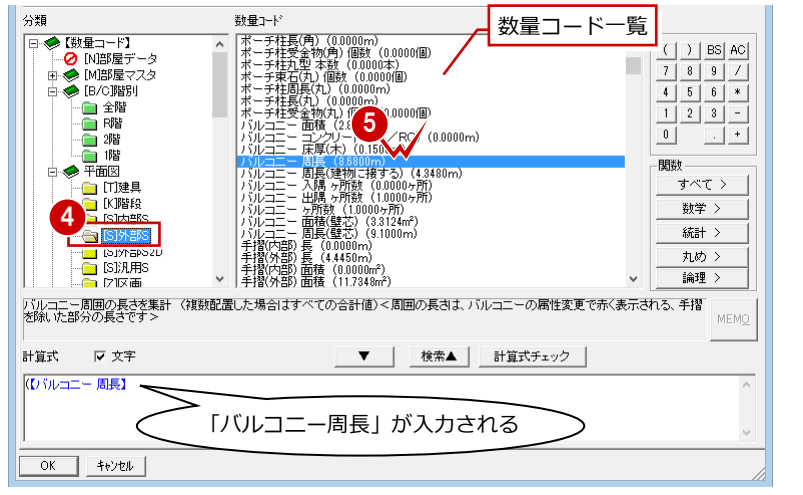


- 3 まずは、[ ( ] をクリックします。

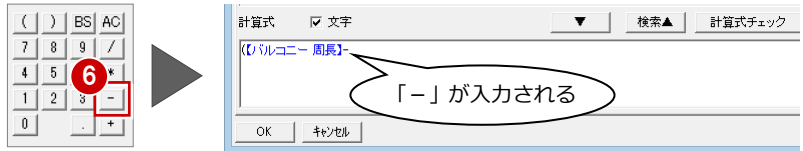
- 4 左側のツリーから「平面図」の中にある「[S] 外部S」を選びます。
- 5 右側の数量コード一覧から「バルコニー周長」をダブルクリックします。

**数量コードの検索機能**

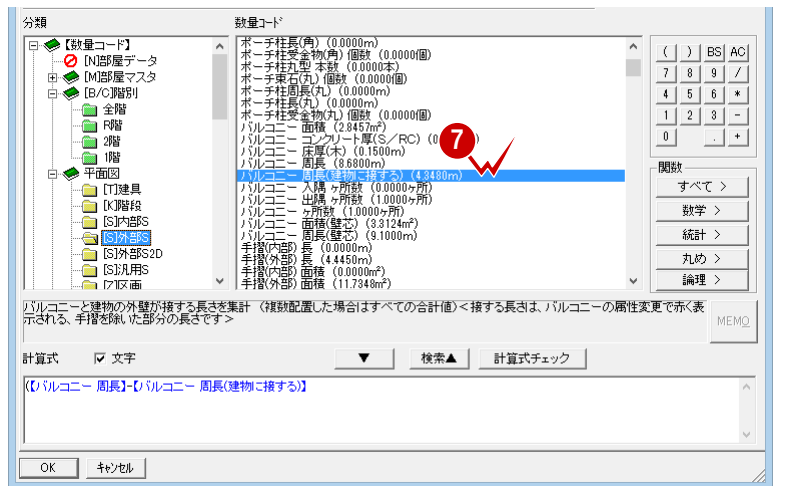
数量コードの数は多いため、[絞込] や [検索] を使用すると目的の数量コードを探しやすくなります。



- 6 [-] をクリックします。



- 7 数量コード一覧から「バルコニー周長 (建物に接する)」をダブルクリックします。



- 8 順に、[ ) ] [\*] [0] [ . ] [3] をクリックします。
- 9 計算式を作成できたら、[OK] をクリックします。

計算式：  
【バルコニー周長】 - 【バルコニー周長 (建物に接する)】 \* 0.3



10 [完了] をクリックします。

[数量] が自動集計されます。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価	見
1	基本	防水...	バルコニーFRP防水	27ライ 3mm	1,000	m <sup>2</sup> [014]	18,000	18,000	見
2									
3									
4									

### 【補足】最低金額について

通常、発注金額や見積金額は「数量×単価」で算出されますが、その金額が設定した最低金額を下回った場合、最低金額で計上することができます。

例えば、バルコニーの防水の明細項目には次のように最低金額が設定されています。

「数量×単価」で算出した金額が最低金額を下回った場合、部屋別表示・工事区分別表示では次のように表示されます。

【最低金額を設定しない場合】

No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	発注金額	見積単価	見積金額
1	バルコニーFRP防水	27ライ 3mm	2.8500	m <sup>2</sup> [014]	13,000	37,050	18,000	51,300

【最低金額を設定した場合】

No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	発注金額	見積単価	見積金額
1	¥1 バルコニーFRP防水	27ライ 3mm	1.0000	式[021]	50,000	50,000	65,000	65,000

※ 最低金額は、集約した明細に対して採用されます。

※ 最低金額が採用された明細は「一式」金額となります。また、[No] に「¥」が表記されます。

※ 最低金額が採用された明細の数量、単位、単価は変更できません。

# 1-7 金額の確認

工事区分別に集計して、工事全体の発注金額、見積金額、利益率などを確認しましょう。

部屋別表示・工事区分別表示では、積算表示で集計・編集した明細が、工事区分ごとにまとめて表示されます。

※ 名称、摘要、単位（番号）、発注単価、見積単価、定価、備考が同じものは同じ明細で集約されます。

名称や金額など何か1つ異なると合算されません（全角、半角、空白の違いも判別します）。



部屋別表示  
工事区分別表示

積算表示 ⇒ P.6 参照	【基本】【外部】【部屋・建具・部品】の各部位ごとに積算項目を表示します。 工事区分の追加、移動、削除、名称変更や、明細項目の編集が可能です。
部屋別表示	【基本】【外部】を集約して工事区分別に表示します。 リフォームの見積を想定しています。
工事区分別表示	【基本】【外部】【部屋・建具・部品】を集約して工事区分別に表示します。 新築の見積を想定しています。

## 表示を切り替える

### - 部屋別表示 -

【工事区分】  
（【基本】 + 【外部】）

【部屋】

全体の金額と、ツリーで選択している工事の金額が表示されます。

全体	発注金額 ¥15,306,550	見積-発注 ¥5,110,403	利益率 25.03%	仮設工事	発注金額 ¥850,640	見積-発注 ¥287,579	利益率 25.26%
	見積金額 ¥20,416,953				見積金額 ¥1,138,219		

### - 工事区分別表示 -

【工事区分別表示】  
（【基本】 + 【外部】 + 【部屋・建具・部品】）

【工事 金額表示する】をクリックすると、ツリーに工事ごとの見積金額、発注金額、利益率が表示されます。閉じるときは、【工事 金額表示しない】をクリックします。

全体	発注金額 ¥15,306,588	見積-発注 ¥5,110,405	利益率 25.03%	仮設工事	発注金額 ¥850,640	見積-発注 ¥287,579	利益率 25.26%
	見積金額 ¥20,416,993				見積金額 ¥1,138,219		

お使いのマスタやテンプレートにより、本書とは集計結果が異なる場合があります。

### 金額を確認する

- 1 [工事別] をクリックします。
- 2 ツリーから確認したい工事を選びます。
- 3 画面下部で、発注金額、見積金額、利益率などを確認します。

表示を切り替えると、[元に戻す][やり直し]の情報がクリアされます。

ツリーで選択している工事の金額を表示

全体	発注金額 ¥15,306,588	見積-発注 ¥5,110,405	見積金額 ¥20,416,993	利益率 25.03%
仮設工事	発注金額 ¥850,640	見積-発注 ¥287,579	見積金額 ¥1,138,219	利益率 25.26%

### 金額のブラインド表示

お施主様に画面を提示する場合など、発注単価や定価を見せたくないときは、[専用初期設定 (表示)] ダイアログで、[発注単価ブラインド] [定価ブラインド] を ON にします。このとき、見積金額以外がブラインド (\*\*\*) で表示されます。

全体	発注金額 *****	見積-発注 *****	見積金額 ¥20,416,993	利益率 *****
仮設工事	発注金額 *****	見積-発注 *****	見積金額 ¥1,138,219	利益率 *****

明細項目セル、詳細パネル、ツールバーの金額表示も同様となります。

No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	発注金額	見積単価	見積金額	定価
1	水廻り・道方		62.9300	㎡[014]	*****	*****	670	42,163	*****
2	外部足場撥料	枠組足場	263.7000	㎡[014]	*****	*****	1,200	316,440	*****
4	足場養生ネット	イージーネット	263.7000	㎡[014]	*****	*****	470	123,939	*****
6	内部吹付け足場	鋼管組	6.6200	㎡[014]	*****	*****	4,200	27,804	*****
7	仮設トイレ	簡易水洗 3ヶ月	1.0000	式[021]	*****	*****	40,000	40,000	*****

### 集約情報を確認する

「防水工事」に追加した明細を確認してみましょう。

- 1 ツリーから「防水工事」を選びます。
- 2 「バルコニーFRP防水」の明細を選択した状態で、右クリックして [集約情報] を選びます。
- 3 確認を終えたら、[OK] をクリックします。

工事	No	部位	名称	数量	単位	発注単価	発注金額
防水工事	4	基本	バルコニーFRP防水	4,1500	㎡[014]	13,000	53,950
防水工事	1	基本	バルコニーFRP防水	1,3000	㎡[014]	13,000	16,900
外部 - 平面図	34	バルコニー床	バルコニーFRP防水	2,8500	㎡[014]	13,000	37,050

### 集約情報での編集

[集約情報] ダイアログでは、次のように明細の内容を編集できます。

明細	編集可能な内容	影響
内訳行	名称、数量	名称を変更すると、集約元の名称が一括で変更されます。 数量を変更すると、対象の工事区分の数量が変更されます。
集計行	数量	数量を変更すると、増減した数量が対象の工事区分に作成されます。

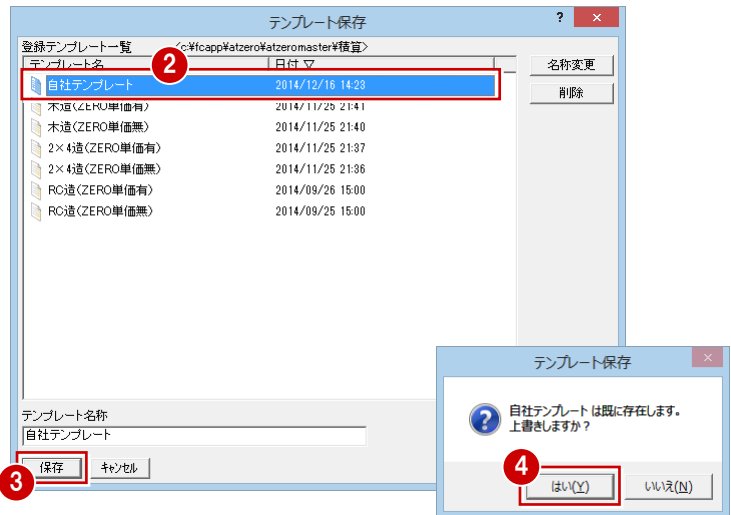
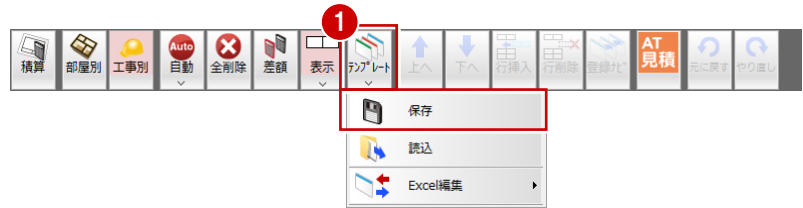
## 1-8 データの保存

編集した明細、単価などをテンプレートに保存しておくことで、次回、別物件の自動集計時にも、ここで保存したテンプレートを 사용할 수 있습니다。1つのテンプレートを多くの物件で使用することで、完成度の高い自社仕様のテンプレートが出来上がります。

### テンプレートに保存する

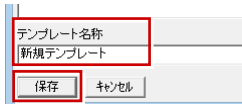
P.13 で保存したテンプレートに上書き保存します。

- 1 [テンプレート] メニューから [保存] を選びます。
- 2 [テンプレート保存] ダイアログの一覧から上書きするテンプレートを選びます。
- 3 [保存] をクリックします。
- 4 確認画面で [はい] をクリックします。



### 別テンプレートとして保存するには

[テンプレート名称] に新規テンプレートのファイル名を入力して、[保存] をクリックします。



### テンプレート保存について

テンプレートには、部屋別表示・工事区分別表示のときの明細行の並び順も保存されます。部屋別表示・工事区分別表示で明細行を並び替えるには、[表示] を「全表示」にして、[上へ] [下へ] で変更します (⇒ 下記参照)。

また、テンプレートには単位テーブルも保存されます。単位は、新規作成時に AM 単位マスタを取り込み、以降はその内包した単位を編集しています。

### データを保存する

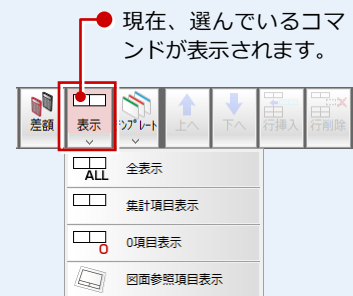
- 1 ツールバーの [上書き保存] をクリックしてデータを保存します。



### 【補足】集計された明細の表示を切り替えるには

セルで表示される集計項目は、数量が 0 のものは表示しないなど、表示を切り替えることができます。表示方法には、次のものがあります。

全表示	全項目を表示します。数量が 0 の項目や積算対象外 ([No] のチェック OFF) の項目も表示されます。
集計項目表示	集計された項目だけを表示します。積算対象外 ([No] のチェック OFF) の項目は表示されません。
0 項目表示	数量が 0 の項目と積算対象外 ([No] のチェック OFF) の項目だけを表示します。
図面参照項目表示	図面を参照して、集計された項目だけを表示します。積算対象外 ([No] のチェック OFF) の項目は表示されません。



※ [行挿入] [行削除] [上へ] [下へ] などの行編集は、「全表示」のときに実行できます。

# 1-9 見積書の作成

集計結果を見積書にして印刷しましょう。ここでは、次の2種類の方法を解説します。

- (A) ARCHITREND 見積 を使って見積書を作成する ⇒ 下記参照
- (B) 手間なし積算の Excel 出力機能を使って見積書を作成する ⇒ P.23 参照

## A ARCHITREND 見積を使って見積書を作成する

ここでは、ARCHITREND 見積を使って見積書を作成する操作を解説します。

※ ここからの操作には、ARCHITREND 見積 がインストールされている必要があります。

### ARCHITREND 見積へ出力する

- 1 見積書を作成するモード（ここでは [工事別]）を ON にします。
- 2 [AT 見積] をクリックします。
- 3 起動の確認画面で [OK] をクリックします。
- 4 [データ作成] ダイアログの [ファイル名] に見積書のファイル名を入力します。
- 5 [OK] をクリックします。



**数量が0の項目の扱い**  
 数量が0の項目も出力するかどうかは、[専用初期設定 (表示)] ダイアログの [数量=0の扱い (TXT・見積変換)] で設定します。(⇒ P.10)

項目No	名称	積算	見積数量	単位	見積単価	見積金額	備考
概 1	仮設工事		1.00	式	1,136,219	1,136,219	
概 2	基礎工事		1.00	式	1,786,660	1,786,660	
概 3	木工事材料		1.00	式	3,356,863	3,356,863	
概 4	木工事手摺		1.00	式	1,870,195	1,870,195	
概 5	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630	
概 6	新築工事		1.00	式	1,457,101	1,457,101	
概 7	障子金物		1.00	式	404,374	404,374	

### 変換された見積データを確認する

- 1 左のツリーの [+] をクリックして、内訳書の階層を表示します。
- 2 ツリーの項目をクリックすると、その項目の内訳書が右側に表示されます。
- 3 各項目の内訳書を確認します。

※ 詳しい操作については、ARCHITREND 見積 のマニュアルを参照してください。

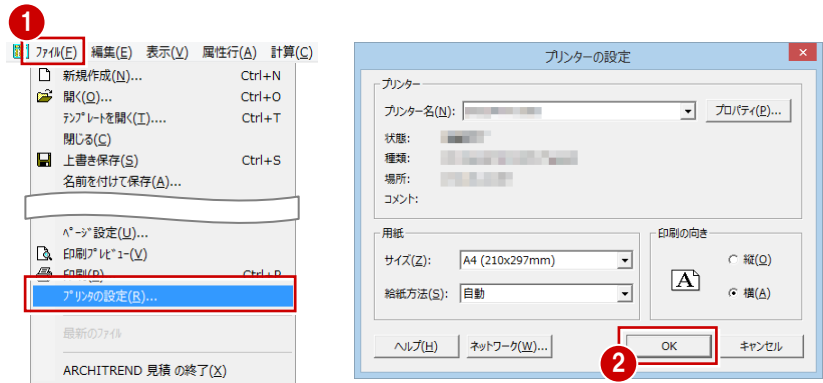
項目No	名称	積算	見積数量	単位	見積単価	見積金額
概 1	仮設工事		1.00	式	1,136,219	1,136,219
概 2	基礎工事		1.00	式	1,786,660	1,786,660
概 3	木工事材料		1.00	式	3,356,863	3,356,863
概 4	木工事手摺		1.00	式	1,870,195	1,870,195
概 5	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 6	新築工事		1.00	式	1,457,101	1,457,101
概 7	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
概 8	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 9	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
概 10	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 11	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
概 12	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 13	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
概 14	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 15	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
概 16	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 17	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
概 18	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 19	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
概 20	障子工事		1.00	式	1,062,630	1,062,630
概 21	障子金物		1.00	式	404,374	404,374
合計	計					1,062,630

# 1 手間なし積算

## 見積書を印刷する

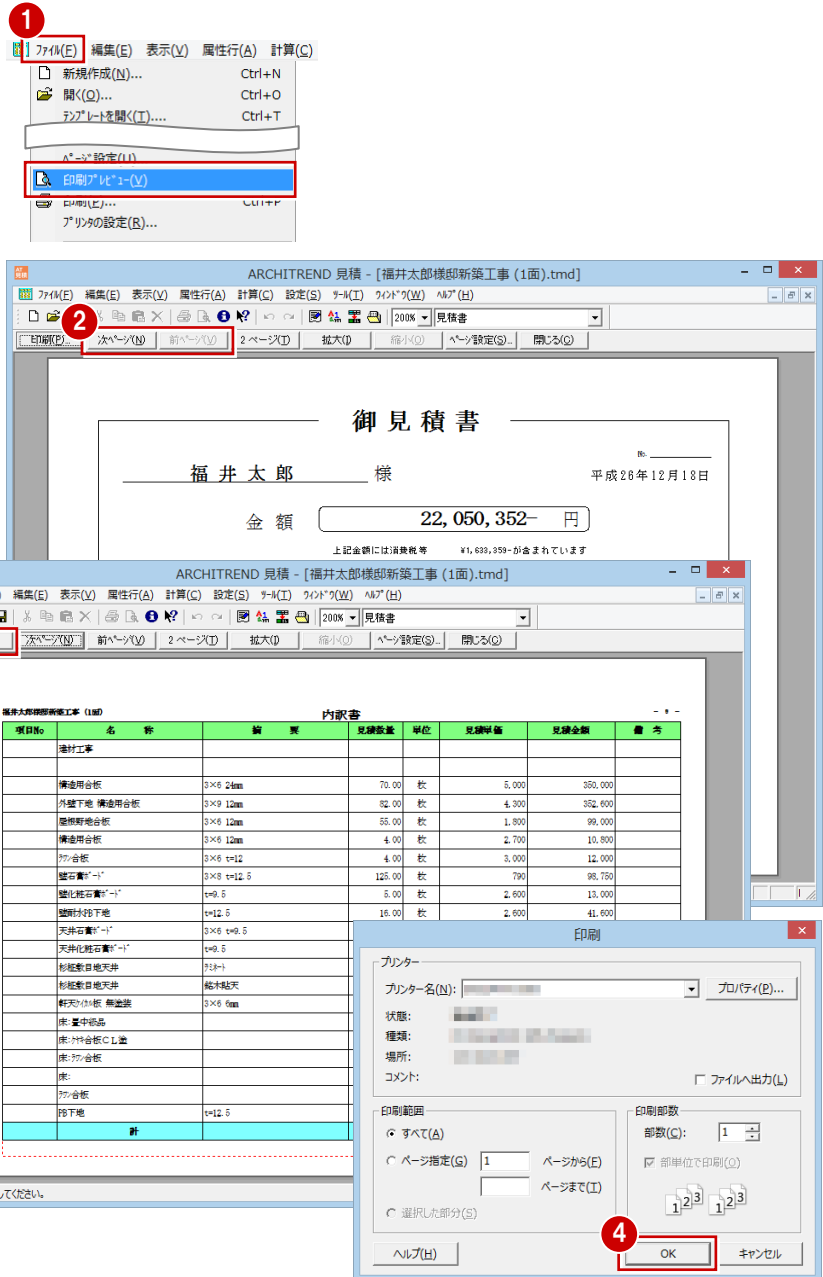
### - プリンタを設定する -

- 1 [ファイル] メニューから [プリンタの設定] を選びます。
- 2 [プリンタの設定] ダイアログで、使用するプリンタや用紙のサイズ・向きなどを設定して、[OK] をクリックします。



### - 印刷する -

- 1 [ファイル] メニューから [印刷プレビュー] を選びます。
- 2 [次ページ] や [前ページ] でページを切り替えます。
- 3 プレビューを確認したら、[印刷] をクリックします。
- 4 [印刷] ダイアログを確認して、[OK] をクリックします。



## 見積データを保存する

見積データは、作成時にファイル名を付けているため、ここでは上書き保存します。

- 1 ツールバーの [上書き保存] をクリックします。



※ ファイル名を変えて保存する場合は、[ファイル]メニューの [名前を付けて保存] を使用します。

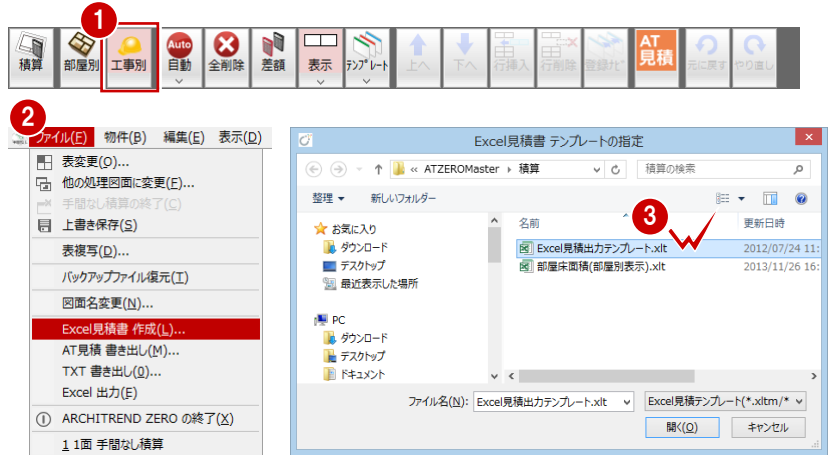
# B Excel を使って見積書を作成する

手間なし積算では、集計データ、物件情報（物件名、施主名など）、配置図のデータ（トータル面積表の延床面積）から、簡易見積書を Microsoft（マイクロソフト）製の Excel で作成できます。この見積書は、手間なし積算専用の Excel テンプレートを使用して作成します。

※ ここからの操作には、Microsoft Office Excel 2000 以降がインストールされている必要があります。  
本書では、Excel 2013 を使用して解説しています。

## Excel 見積へ出力する

- 1 見積書を作成するモード（ここでは [工事別]）を ON にします。
- 2 [ファイル]メニューから [Excel 見積書 作成] を選びます。
- 3 「Excel 見積出力テンプレート.xlt」をダブルクリックして選択します。

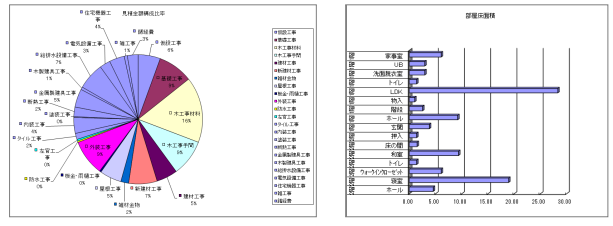


**数量が 0 の項目の扱い**  
数量が 0 の項目や積算対象外の項目は、Excel には出力されません。

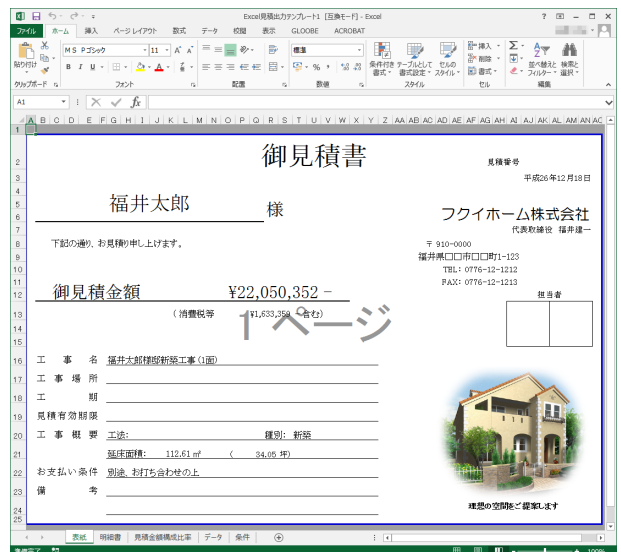
## Excel 見積書のテンプレート

出荷時には [〇:¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster¥積算] フォルダに 2 つのテンプレートが用意されています。印刷される表紙、明細書は同じですが、作成されるグラフが異なります。

- Excel 見積出力テンプレート.xlt  
工事区分毎の見積金額の構成比率を示したグラフが作成されます。
- 部屋床面積(部屋別表示).xlt  
部屋毎の床面積を示したグラフが作成されます。積算表示・部屋別表示に切り替えてから使用します。



【Excel 見積出力テンプレート.xlt】 【部屋床面積(部屋別表示).xlt】



## 【補足】Excel への出力

[ファイル]メニューの [Excel 出力] では、手間なし積算のセルの内容（全項目表示された状態）を、そのまま Excel に出力することができます。数量が 0 の項目や積算対象外の項目も、Excel に出力されます。

ファイル(E) 物件(B) 編集(E) 表示(D)

- 表変更(O)...
- 他の処理画面に変更(E)...
- 手間なし積算の終了(C)
- 上書き保存(S)
- 表復写(D)...
- バックアップファイル復元(I)
- 図面名変更(N)...
- Excel見積書 作成(L)...
- AT見積 書き出し(M)...
- TXT 書き出し(Q)...
- Excel 出力(E)
- ARCHITREND ZERO の終了(X)
- 11面 手間なし積算

➔

Excel出力 ?

- 自社テンプレート(工事区分別表示)
- 仮設工事
- 解体工事
- 基礎工事
- 木工事材料
- 木工事手間
- 建材工事
- 新建材工事
- 雑材金物
- 屋根工事

開始 中止 終了

出力する項目のチェックを ON

工事区分ごとにシートが作成される

# 1 手間なし積算

## 見積書の内容を確認する

### - 見積の条件を確認する -

- Excel 下部の [条件] シートをクリックします。
- 表紙に表示する項目、1 ページに表示する明細の数、計算まるめなどを確認します。

まるめには、手間なし積算の [専用初期設定 (丸め)] が連動します。変更する場合は次の文字のみ入力します。「四捨五入」「切り捨て」「切り上げ」上記以外の文字が入力された場合は、まるめません。

工事名称などは、[物件] メニューの [物件情報] から連動します。面積は、配置図のトータル面積表から連動します。

※ 大きい数字を設定しても必ずしも1ページがその行数になるとは限りません。

※ 各条件を変更した結果を反映する場合には明細書再構成を行う必要があります。表紙・明細書が強制的に再構成されます。

会社名などは [基本設定 (会社情報)] から連動します。

[明細書再構成] をクリックすると、条件より再計算を行い、[明細書] シートが変更されます。次の場合に使用します。

- ・ [1 ページあたりの明細数] を変更して明細書の構成を変更する場合
- ・ [金額計算まるめ] [消費税率] [消費税まるめ] を変更して金額の再計算が必要な場合

### - 表紙、明細書、グラフを確認する -

- [表紙] シートをクリックします。
- 項目などを確認します。表紙に未記入の項目があるときや会社名を変更したいときは、直接入力してもかまいません。
- [明細書] シートをクリックして確認します。
- [見積金額構成比率] シートをクリックして確認します。

御見積書

見積番号 平成26年12月18日

福井太郎 様

フクイホーム株式会社  
代表取締役 福井建一

〒 910-0000  
福井県 福井市 福井1-123  
TEL: 0776-12-1212  
FAX: 0776-12-1213

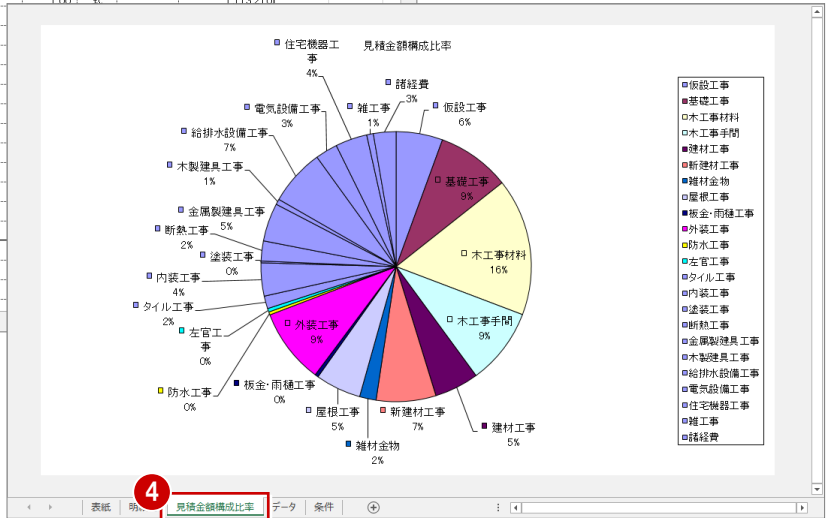
御見積金額 ¥22,050,352 -  
(消費税等 ¥1,633,359 (含))

1 ページ

工事名 福井太郎様邸新築工事 (1面)  
工事場所  
工期  
見積有効期限  
工事概要 工法: 種別: 新築  
延床面積: 112.61㎡ ( 34.05 坪)

お見積り条件 別途、お打ち合わせの上

項目No	名称	摘要	見積数量	単位	見積単価	見積金額
1	仮設工事		1.00	式		1,139,219
2	基礎工事		1.00	式		1,789,660
3	木工事材料		1.00	式		3,359,863
4	木工事手間		1.00	式		1,870,185
5	建材工事		1.00	式		1,082,630
6	新建材工事		1.00	式		1,457,101
7	雑材余物		1.00	式		404,374
8	屋根工事		1.00	式		1,113,210
9	板金・雨樋工事					
10	外装工事					
11	防水工事					
12	左官工事					
13	タイル工事					
14	内装工事					
15	塗装工事					
16	断熱工事					
17	金属製建具工事					
18	木製建具工事					
19	給排水設備工事					
20	電気設備工事					
21	住宅機器工事					
22	雑工事					
23	諸経費					
24	諸					





## 見積書を印刷する

- 1 [条件] シートをクリックします。
- 2 [表紙・明細書印刷プレビュー] をクリックします。
- 3 [印刷] をクリックします。
- 4 [印刷] ダイアログで、プリンタなどを設定して、[OK] をクリックします。

## 印刷について

[表紙・明細書印刷プレビュー] では、表紙、明細書だけを印刷できます。  
見積金額構成比率を印刷するときは、Excel の[印刷] コマンドを使用します。

## [データ] シートについて

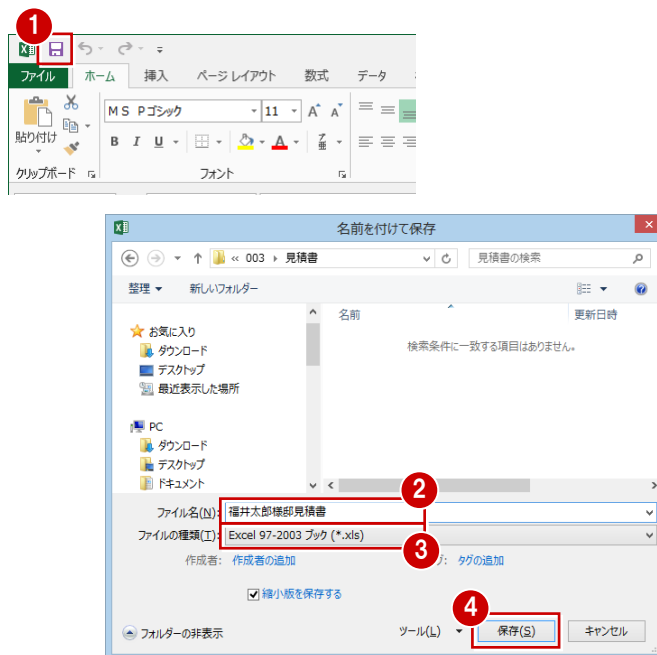
基本的に、[データ] シートのデータは編集しないことをお勧めします。セル自体の移動、行の削除などを行うと、明細書が正しく表記できなくなります。  
[数量] [見積単価] セルを変更したい場合は、手間なし積算の方で修正して、再度 Excel 見積書を作成するようにしましょう。



## Excel データを保存する

変換された Excel データは保存されていない状態なので、名前を付けて保存します。

- 1 [上書き保存] をクリックします。
  - 2 [ファイル名] に見積書のファイル名を入力します。
  - 3 マクロを有効にしたままデータを保存するために、[ファイルの種類] で「Excel97-2003 ブック (\*.xls)」を選びます。
- ※ この操作は Microsoft Office Excel 2003 以前をお使いの方は不要です。そのまま次へお進みください。
- 4 [保存] をクリックします。

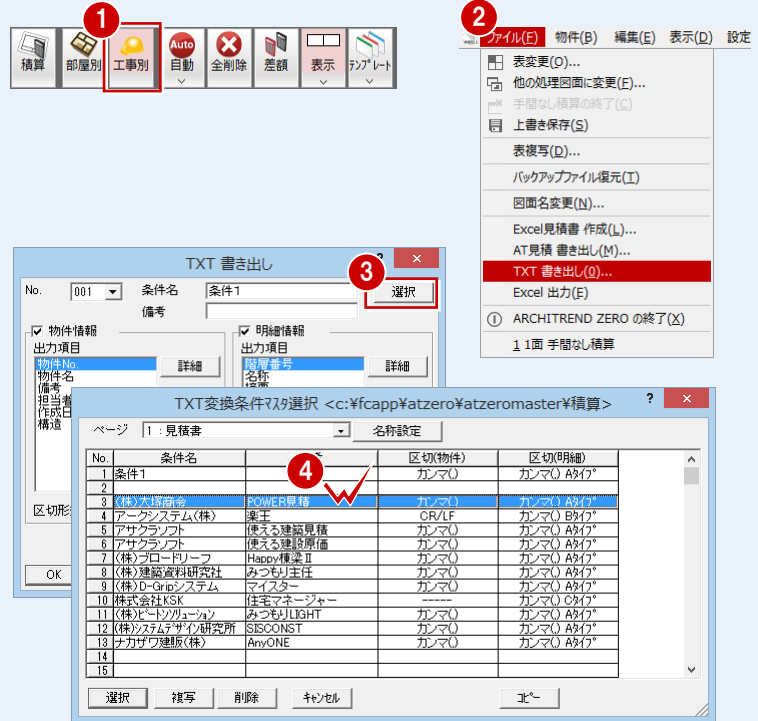


## 【補足】他社の見積システムへの変換

手間なし積算の集計データをテキストデータへ出力することで、他社の見積システムで取り込むことができます。出荷時に、いくつか他社の見積システムへの変換条件を用意しており、その条件を選ぶだけで、見積システムに対応したテキストデータを出力できます。

※ 他社の見積システムでのテキストデータの取り込み方法については、見積システムのマニュアルをお読みください。

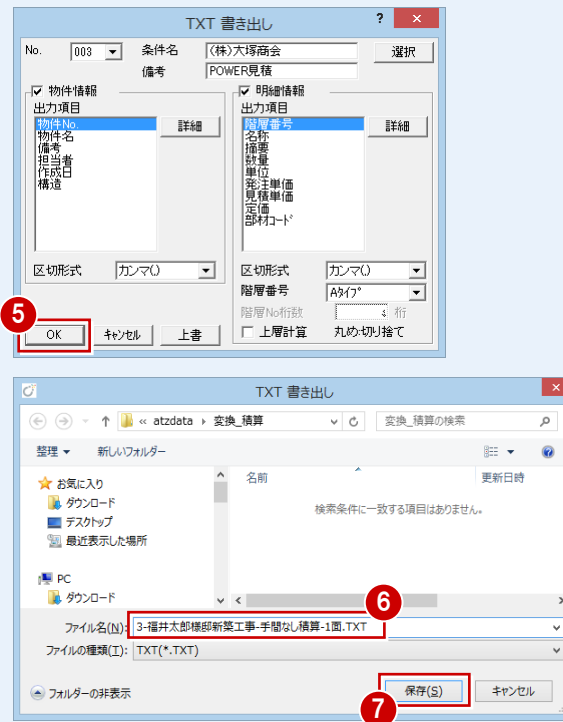
- ① 見積書を作成するモード（ここでは [工事別]）を ON にします。
- ② [ファイル] メニューから [TXT 書き出し] を選びます。
- ③ [TXT 書き出し] ダイアログの [選択] をクリックします。
- ④ [TXT 変換条件マスタ選択] ダイアログで見積システムをダブルクリックして選択します。
- ⑤ [TXT 書き出し] ダイアログの [OK] をクリックします。
- ⑥ [ファイル名] にテキストデータのファイル名を入力します。
- ⑦ [保存] をクリックします。



テキストを取り込める見積システムであれば、テキストの条件を個別に設定して、出力してください。

### テキストデータの保存先フォルダ

初期値は、データフォルダ内の「変換\_積算」フォルダに格納されます。なお、ファイル名の初期値は「物件 No-物件名-手間なし積算-図面 No」となります。



## 2

# 自社用テンプレートの作成

ここでは、初めて自社用のテンプレートを作成する操作を解説します。

テンプレートは、自社物件の平面図、屋根伏図などの図面データがある状態で作成していくと効率的です（壁仕上などの自動集計項目は、テンプレートにない場合、自動的に集計されるため）。

## 作成するテンプレート

次のテンプレート（赤字で示す部分）を作成してみましょう。

※ ここでは、操作を省略するために、途中まで入力した「解説用テンプレート.esz」を使用しています。次のコピー先フォルダに、解説用テンプレートをコピーしてから操作してください。

**コピー先フォルダ**：[○:¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster¥積算]

工事区分		明細項目							
第1層	第2層	名称	摘要	単位	発注単価	見積単価	計算根拠・計算式		
建築 本 体 工 事	仮設工事	仮設トイレ	簡易水洗式	式	45,760	57,200	定数値	1	
		外部足場(シート貼、外し含む)	延床面積 100 m <sup>2</sup> 未满是 100 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1,000	1,250	計算式 (論理式)	IF (LARGE (【部屋(全階) 面積】 ,100), 【部屋(全階) 面積】 ,100)	
	基礎工事	ベタ基礎	t150	坪	35,000	50,000	計算式	【部屋(1階) 面積】 + 【ポーチ 面積】	
	木工事	木材費			坪	36,000	45,000	計算式	【部屋(全階) 面積】
		大工手間 25坪未 満			坪	52,000	65,000	計算式 (条件付)	【部屋(全階) 面積】 /3.3057 < 25 [真] 【部屋(全階) 面積】 [偽] 0
		大工手間 25坪 以上 43坪未満			坪	50,000	62,500	計算式 (条件付)	25 ≤ 【部屋(全階) 面積】 /3.3057 < 43 [真] 【部屋(全階) 面積】 [偽] 0
	建材工事	階段 (2階建)			ヶ所	84,000	120,000	計算式 (条件付)	【地上階数】 = 「2」 [真] 「1」 [偽] 「0」
		階段 (3階建)			ヶ所	100,000	145,000	計算式 (条件付)	【地上階数】 = 「3」 [真] 「2」 [偽] 「0」
	外装工事								
	屋根工事								
	板金飾り工事								
	内装工事	畳			0.5単位	16,800	21,000	計算式	【畳一帖 枚数】 + (【畳半帖 枚数】 /2)
	左官工事								
	タイル工事	ポーチタイル	せつ器質タイル 300×300		m <sup>2</sup>	11,200	14,000	計算式	【ポーチ 面積】 + (【ポーチ 周長】 - 【ポ ーチ 周長(建物に接する)】 ) *0.2
	サッシ工事								
	木製建具工事								
	雑工事								
	付 帯 工 事	給排水衛生設 備工事							
		電気設備工事							
		住宅設備工事							
諸 経 費	設計料								
	確認申請料								

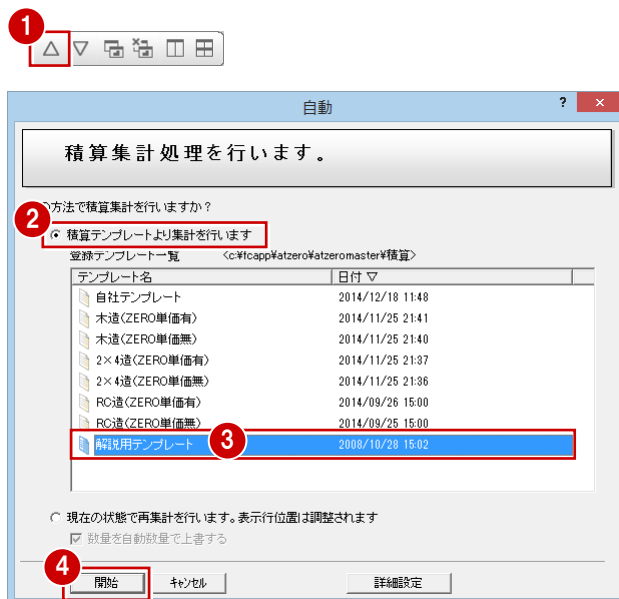
※ 補給率はすべて「1」

## 2-1 自動集計

テンプレートのもとになる物件（ここでは、引き続き同じ物件を使用）を開いて、物件で使用されている仕上、建具、部品、部屋設備の積算項目を自動集計しましょう。

### 作成面を開く

- 1 [上階を開く] をクリックして、手間なし積算のデータがない面を開きます。
- 2 [自動] ダイアログで [積算テンプレートより集計を行います] にチェックが入っていることを確認します。
- 3 登録テンプレート一覧から「解説用テンプレート」を選びます。
- 4 [開始] をクリックします。



### 【補足】白紙からテンプレートを作成するには

工事区分と明細の単価を1から設定していきたい場合や、物件の仕様が異なるため関係ない明細をテンプレートに残したくない場合などは、何も無い白紙の状態からテンプレートを作成します。

このとき、[自動] ダイアログで [現在の状態で再集計を行います。表示行位置は調整されます] を使用します。

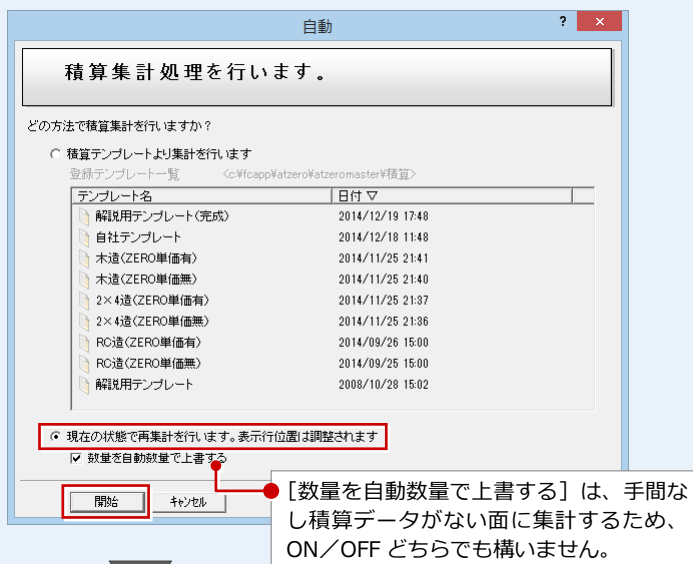
集計されたデータは次のようになります。

#### － 明細 －

物件で使用されている仕上、建具、部品など自動集計対象の項目が集計されます。

#### － 数量と単価 －

数量は図面データから集計されますが、テンプレートを使用していないため、工事区分、単価の情報がありません。工事区分と単価を1から設定していく必要があります。



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位
1	外部 巾木仕上	工事...	巾木毛割刷毛引き		14.0500	m <sup>2</sup> [014]
2	外部 巾木仕上手間	工事...			14.0500	m <sup>2</sup> [014]
3	外部 水切	工事...	水切水切	カルパウム鋼板	33.4500	m[013]
4	外部 水切手間	工事...			33.4500	m[013]
5	外部 壁仕上	工事...	壁サイディング襖張り	塗装済み	182.0000	m <sup>2</sup> [014]
6	外部 壁仕上手間	工事...			182.0000	m <sup>2</sup> [014]
7	外部 壁下地 1	工事...	油気剥離		182.0000	m <sup>2</sup> [014]
8	外部 壁下地 2	工事...			182.0000	m <sup>2</sup> [014]
9	外部 壁下地手間	工事...			182.0000	m <sup>2</sup> [014]
10	外部 壁壁見切	工事...	壁壁見切	金剛製	0.0000	m[013]

## 2-2 工事区分の作成

解説用テンプレートは、工事区分がいくつか設定されていない状態です。  
右表の工事区分と階層（赤字）を作成してみましょう。

第1層	第2層
建築本体工事	仮設工事
	基礎工事
	木製建具工事
	雑工事
付帯工事	給排水衛生設備工事
	電気設備工事
	住宅設備工事
諸経費	設計料
	確認申請料

### 工事区分を追加する

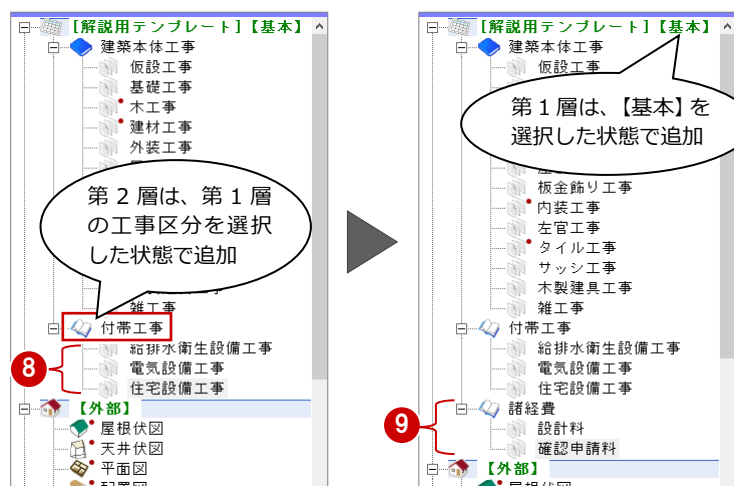
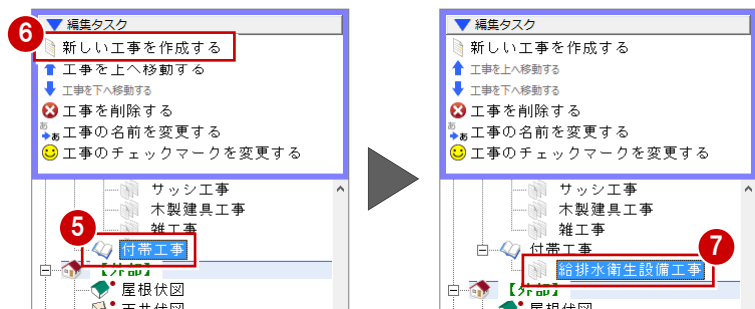
#### － 第1層を作成する －

- 1 [編集タスク] をクリックします。  
ツリーパネルの工事区分を作成・編集するための機能が表示されます。
- 2 ツリーから【基本】を選びます。
- 3 [編集タスク] の [新しい工事を作成する] をクリックします。
- 4 「新しい工事」が作成されるので、「付帯工事」と入力して、Enter キーを押します。



#### － 第2層を作成する －

- 5 ツリーから「付帯工事」を選びます。
- 6 [編集タスク] の [新しい工事を作成する] をクリックします。
- 7 「給排水衛生設備工事」と入力して、Enter キーを押します。
- 8 同様に、操作⑤～⑦を繰り返して、「住宅設備工事」までを作成します。
- 9 同様に「諸経費」とその下層の工事区分を作成します。



#### 別テンプレートから工事区分を読み込む

ツリーパネルで右クリックして [テンプレートより工事読み込み] を選ぶと、別テンプレートから工事区分とその工事区分に設定されている明細を読み込むことができます。  
ただし、現在の工事区分とその工事区分に設定されている明細はなくなります。

## 2-3 [明細の追加] 定数値を使用

工事区分を設定したら、【基本】に自動集計されない明細項目（仮設など仕上や建具以外のもの）を、定数値や計算式などを使って作成してみましょう。ここでは、[セル] への直接入力と詳細パネルを使った基本的な明細の追加方法を解説します。

次の明細「仮設トイレ」は、集計方法「定数値」を使って数量を算出したものです。

【基本】 建築本体工事

	名称	摘要	単位	発注単価	見積単価	補給率	集計方法	定数値
仮設工事	仮設トイレ	簡易水洗式	式	45,760	57,200	1.0	定数値	1

### 明細を追加する

- ツリーから「建築本体工事」の「仮設工事」を選びます。
- 追加する行（ここではNo.1）をクリックします。



- [名称] [摘要] セルに直接入力します。  
[名称]：仮設トイレ  
[摘要]：簡易水洗式



- [単位] セルをダブルクリックします。
- [単位設定] ダイアログで番号 21 の [式] をダブルクリックして選択します。



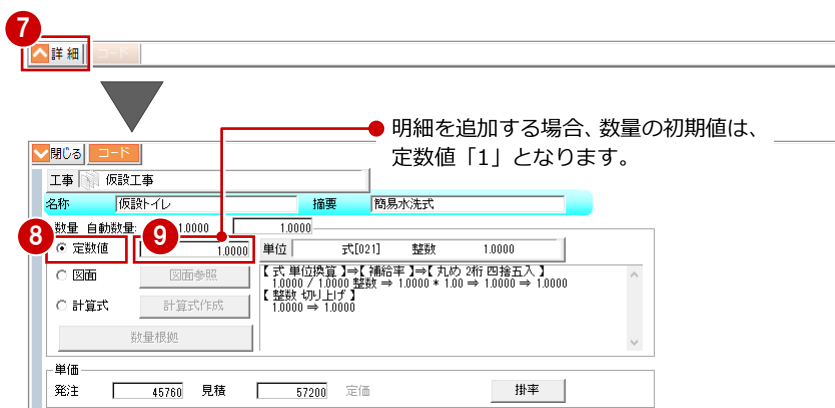
- [発注単価] [見積単価] セルに直接入力します。  
[発注単価]：45760  
[見積単価]：57200



- [詳細] をクリックします。

- 詳細パネルで [定数値] にチェックが入っていることを確認します。

- [定数値] 右のボックスが「1」であることを確認します。



## 2-4 [明細の追加] 条件無し計算式を使用

次の明細「ベタ基礎」は、集計方法「計算式（数量コード）」を使って数量を算出したものです。

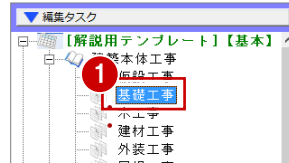
【基本】 建築本体工事

	名称	摘要	単位	発注単価	見積単価	補給率	集計方法	計算式
基礎工事	ベタ基礎	t150	坪	35,000	50,000	1.0	計算式	【部屋(1階) 面積】 + 【ポーチ 面積】

ここでは、ベタ基礎の数量を「1階部屋の床面積+ポーチ部分の面積」から算出する計算式を作成します。

### 明細を追加する

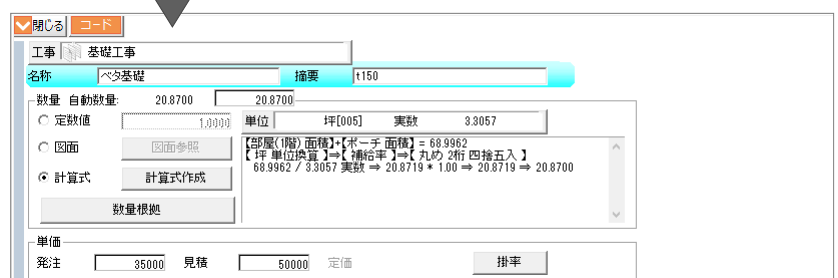
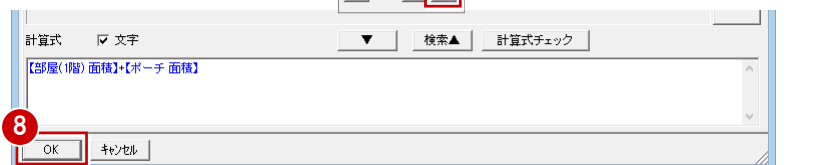
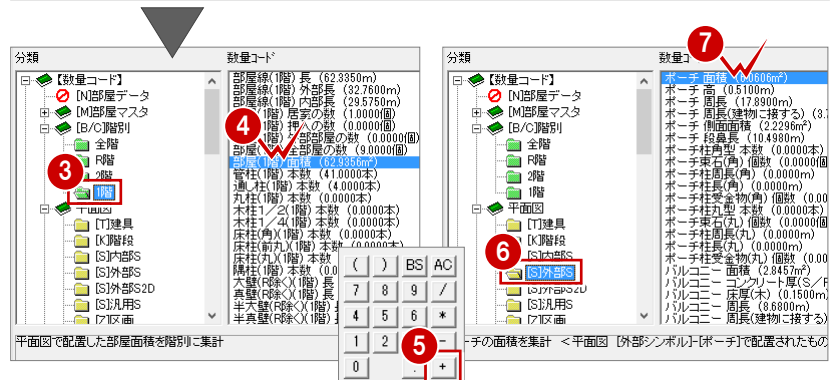
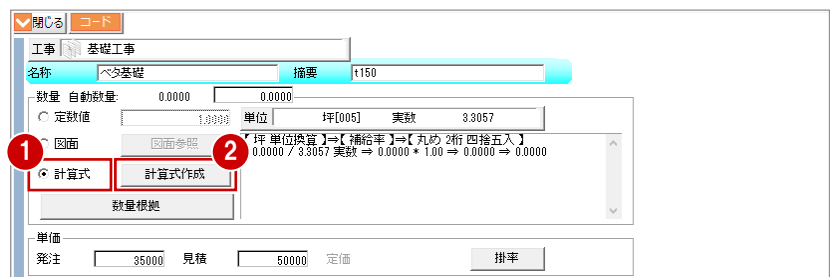
- ツリーから「建築本体工事」の「基礎工事」を選びます。
- セルで名称、単価などを設定します。  
[名称] : ベタ基礎  
[摘要] : t150  
[単位] : 坪 (番号 5)  
[発注単価] : 35000  
[見積単価] : 50000



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	基礎...	ベタ基礎	t150	0.3000	坪[005]	35,000	50,000
2								
3								
4								

### 計算式を設定する

- 詳細パネルで [計算式] にチェックを入れます。
- [計算式作成] をクリックします。
- 左側のツリーから「[B/C] 階別」の中にある「1階」を選びます。
- 右側の数量コード一覧から「部屋 (1階) 面積」をダブルクリックします。
- [+] をクリックします。
- 左側のツリーから「平面図」の中にある「[S] 外部S」を選びます。
- 右側の数量コード一覧から「ポーチ面積」をダブルクリックします。
- 計算式が作成できたら、[OK] をクリックします。



## 2-5 [明細の追加] 条件付き計算式を使用

次の明細「大工手間」は、集計方法「条件付き計算式」を使って数量を算出したものです。

ここでいう条件付きとは、 $A > B$  のとき A、そうでないとき B、というように条件によって結果が異なるような式をいいます。

### 【基本】建築本体工事

		名称	摘要	単位	発注単価	見積単価	補給率	集計方法	計算式
A	木工事	大工手間 25 坪未満		坪	52,000	65,000	1.0	計算式 (条件付)	【部屋(全階) 面積】 / 3.3057 < 25 [真] 【部屋(全階) 面積】 [偽] 0
B	木工事	大工手間 25 坪以上 43 坪未満		坪	50,000	62,500	1.0	計算式 (条件付)	25 ≤ 【部屋(全階) 面積】 / 3.3057 < 43 [真] 【部屋(全階) 面積】 [偽] 0
C	木工事	大工手間 43 坪以上		坪	48,000	60,000	1.0	計算式 (条件付)	43 ≤ 【部屋(全階) 面積】 / 3.3057 [真] 【部屋(全階) 面積】 [偽] 0

数量に応じて単価が異なる場合は、上表のように明細を分けて作成する必要があります。

例えば、数量の根拠となる「部屋(全階) 面積 / 3.3057」が 40 坪のとき、

「明細 A の数量 = 0」「明細 B の数量 = 40」「明細 C の数量 = 0」となり、明細 B だけが積算されるようになります。

### 明細 A を追加する

① ツリーから「建築本体工事」の「木工事」を選びます。

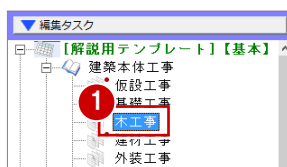
② セルで名称、単価などを設定します。

【名称】：大工手間 25 坪未満

【単位】：坪 (番号 5)

【発注単価】：52000

【見積単価】：65000



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	木工	材費		36.0700	坪[005]	36,000	45,000
2	基本	木工	大工手間 25坪未満		0.3000	坪[005]	52,000	65,000
3								
4								

### － 条件式を設定する －

① 詳細パネルで [計算式] にチェックを入れます。

② [計算式作成] をクリックします。

③ [計算式登録] ダイアログの [条件付] タブをクリックします。

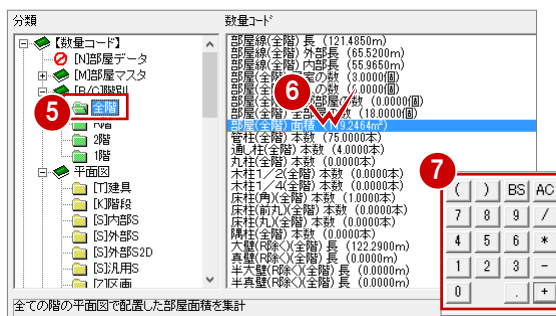
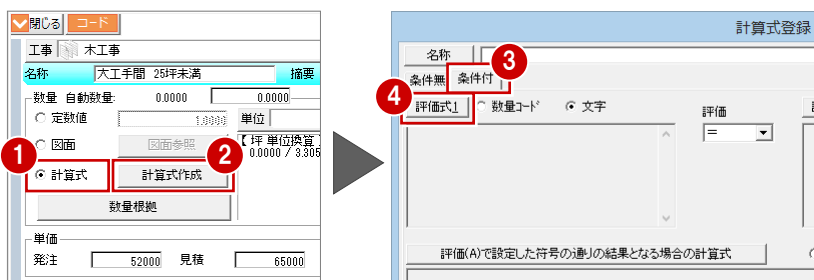
④ [評価式 1] をクリックします。

⑤ 左側のツリーから「[B/C] 階別」の中にある「全階」を選びます。

⑥ 右側の数量コード一覧から「部屋(全階) 面積」をダブルクリックします。

⑦ [/] とテンキーを使って、「/ 3.3057」と入力します。

⑧ [OK] をクリックします。



m<sup>2</sup>を坪で換算するため、  
/ 3.3057  
を順にクリックします。  
(1 坪 = 3.3057 m<sup>2</sup>)





⑨ [評価] で「<」を選びます。

⑩ [評価式 2] をクリックし、テンキーを使って、「25」と入力します。



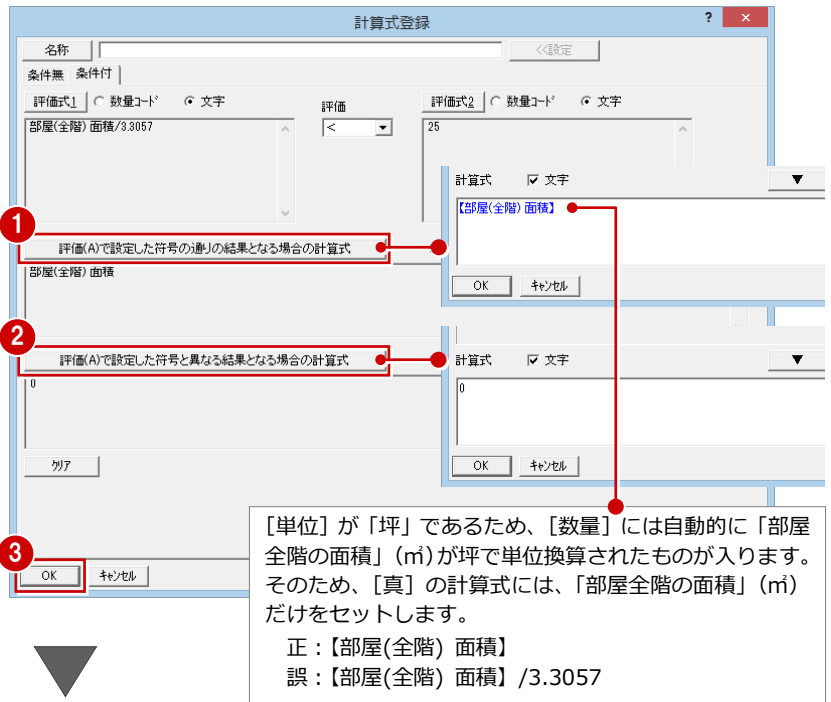
### - 真・偽のときの条件を設定する -

① [評価(A)で設定した符号の通りの結果となる場合の計算式] をクリックして、次の数量コードを設定します。

ツリー：「[B/C] 階別」の「全階」  
数量コード：「部屋（全階）面積」

② [評価(A)で設定した符号と異なる結果となる場合の計算式] をクリックして、テンキーを使って、「0」と入力します。

③ [OK] をクリックします。



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	木工...	木材費		36.0700	坪[005]	36,000	45,000
2	基本	木工...	大工手間 25坪未満		0.0000	坪[005]	52,000	65,000
3								
4								

### 明細 B を追加する

ここでは、明細 A をコピーして明細 B を作成します。

① No.2 の行で、右クリックして [行コピー] を選びます。

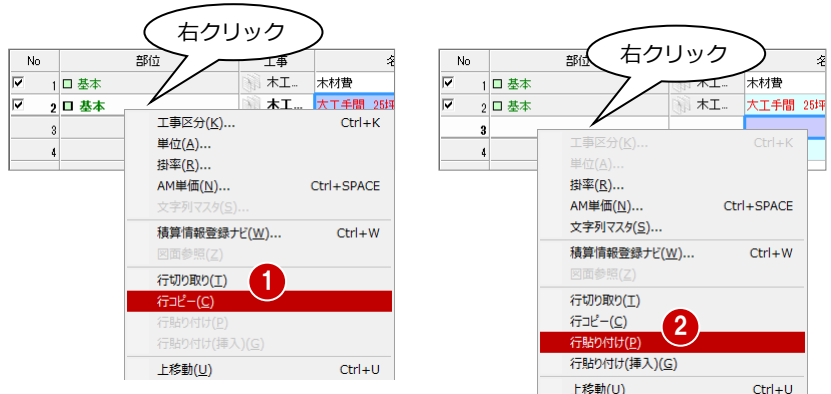
② No.3 の行で、右クリックして [行貼り付け] を選びます。

③ No.3 の名称、単価を変更します。

[名称]：大工手間 25坪以上 43坪未満

[発注単価]：50000

[見積単価]：62500



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	木工...	木材費		36.0700	坪[005]	36,000	45,000
2	基本	木工...	大工手間 25坪未満		0.0000	坪[005]	52,000	65,000
3	基本	木工...	大工手間 25坪以上 43坪未満		0.0000	坪[005]	50,000	62,500
4								

### 【行コピー】と【コピー】

[編集] メニューの [コピー] コマンド (⇒ P.11 参照) では、名称、摘要、数量、単位、発注単価、見積単価、定価の文字列だけをコピーして貼り付けます。部位、工事区分、自動数量、数量根拠 (計算式など) はコピーできません。

※ [数量] は、コピーされるので注意してください。

一方、[行コピー] コマンドでは、部位、工事区分、名称、摘要、自動数量、数量、単位、発注単価、見積単価、定価 (すべての項目) そして数量根拠 (計算式など) をコピーします。

こちらは、明細をコピーして、それをもとに別の明細を作成したいときに使用します。

## 2 自社用テンプレートの作成

### - 条件式を設定する -

- ① 詳細パネルで [計算式] にチェックを入れます。
- ② [計算式作成] をクリックします。
- ③ [計算式登録] ダイアログの [条件付] タブをクリックします。
- ④ [評価式 1] が次の式になっていることを確認します。  
「部屋 (全階) 面積/3.3057」
- ⑤ [評価] を「≥ (範囲)」に変更して、右のボックスに「25」と入力します。
- ⑥ その下にもう 1 つボックスが表示されるので、「< (範囲)」を選んで、右のボックスに「43」と入力します。
- ⑦ [評価(A)で設定した符号の通りの結果となる場合の計算式] が「部屋 (全階) 面積」になっていることを確認します。
- ⑧ [評価(A)で設定した符号と異なる結果となる場合の計算式] が「0」になっていることを確認します。
- ⑨ [OK] をクリックします。

本書の場合、  
「部屋 (全階) 面積」 = 119.2464 m<sup>2</sup> であるため、  
「119.2464 / 3.3057 ⇒ 36.0700」となり、この  
明細の条件式を満たします。  
このとき、[数量] には坪に単位換算した「36.0700」  
が自動的にセットされます。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	木工...	木材費		36.0700	坪[005]	36,000	45,000
2	基本	木工...	大工手間 25坪未満		0.0000	坪[005]	52,000	65,000
3	基本	木工...	大工手間 25坪以上43坪未満		36.0700	坪[005]	50,000	62,500
4								

### 明細 C を追加する

- ① 同様に、明細 A (No.2) をコピーして、明細 C (No.4) の名称、単価を変更します。  
[名称] : 大工手間 43坪以上  
[発注単価] : 48000  
[見積単価] : 60000
- ② 詳細パネルの [計算式作成] をクリックして、条件式を設定します。  
[評価] : ≥  
[評価式 2] : 43

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	木工...	木材費		36.0700	坪[005]	36,000	45,000
2	基本	木工...	大工手間 25坪未満		0.0000	坪[005]	52,000	65,000
3	基本	木工...	大工手間 25坪以上43坪未満		36.0700	坪[005]	50,000	62,500
4	基本	木工...	大工手間 43坪以上		0.0000	坪[005]	48,000	60,000

## 2-6 [明細の追加] 論理式を使用

次の明細「外部足場」は、集計方法「計算式（論理式）」を使って数量を算出したものです。

【基本】 建築本体工事

	名称	摘要	単位	発注単価	見積単価	補給率	集計方法	計算式
仮設工事	外部足場(シート貼、外し含む)	延床面積 100㎡ 未滿は 100㎡	㎡	1,000	1,250	1.0	計算式 (論理式)	IF(LARGE([部屋(全階)面積],100), [部屋(全階)面積],100)

### - 条件 -

延床面積が 100 ㎡を基準にして、次のように数量を扱う明細を作成します。

延床面積が 100 ㎡以上のとき、数量を「部屋全階の面積」とする

延床面積が 100 ㎡未滿のとき、数量を「100」とする

※ 本書では、「延床面積」を「部屋全階の床面積」で扱って計算します。

### - 論理式 -

単価は同じであるため、1つの明細で次の計算式（論理式）を作成します。

IF(LARGE([部屋(全階)面積],100),[部屋(全階)面積],100)

「部屋全階の面積」が 100 ㎡より大きいなら「部屋全階の面積」、

100 ㎡よりも大きくないなら「100」とする計算式です。

例えば、「部屋(全階)面積」が 118 ㎡のとき、100 ㎡より大きいため、数量は 118 ㎡となります。

「部屋(全階)面積」が 80 ㎡のとき、100 ㎡より小さいため、数量は 100 ㎡となります。

### 延床面積のコードについて

本書では、「部屋全階の床面積」の数量コードを使って「延床面積」を計算します。

配置図でトータル面積表を配置している場合は、数量コードのツリーで「配置図」の「[H] 面積表」に「延床面積 [トータル面積表]」の数量コードが用意されているので、これを使って計算式を作成しても構いません。

### ここで使用する論理式について

- IF (論理式, 真の場合, 偽の場合)  
論理式の結果に応じて指定された値を返します。
- LARGE (数値 1, 数値 2)  
この関数は、IF 文の論理式で使用します。  
数値 1 が数値 2 より大きいなら真を返します。

## 明細を追加する

① ツリーから「建築本体工事」の「仮設工事」を選びます。

② セルで名称、単価などを設定します。

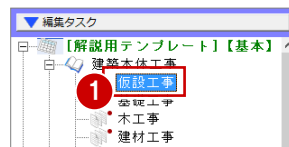
[名称]: 外部足場 (シート貼、外し含む)

[摘要]: 延床面積 100㎡未滿は 100㎡

[単位]: ㎡ (番号 14)

[発注単価]: 1000

[見積単価]: 1250



No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	仮設	外部足場(シート貼、外し含む)	簡易水注式	1.0000	式[021]	45,780	57,200
2	基本	仮設	外部足場(シート貼、外し含む)	延床面積100㎡未滿は100㎡	1.0000	㎡[014]	1,000	1,250
3								
4								

## 論理式を設定する

① 詳細パネルで [計算式] にチェックを入れます。

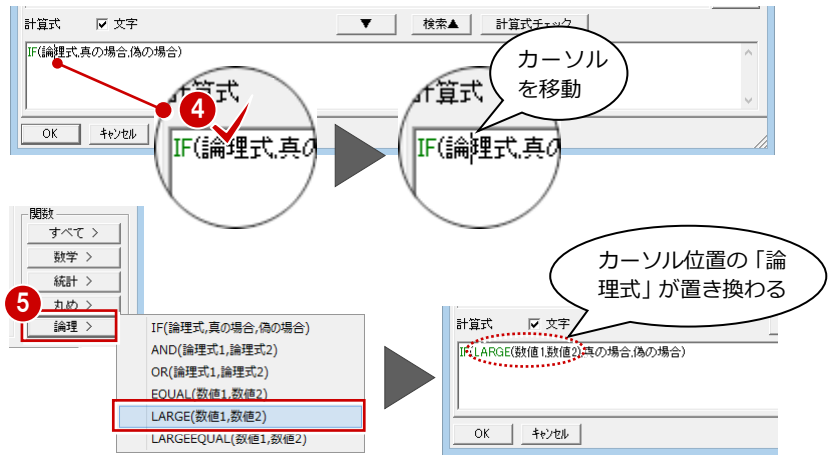
② [計算式作成] をクリックします。

③ [関数] の [論理] メニューから [IF(論理式,真の場合,偽の場合)] を選びます。  
[計算式] に「IF(論理式,真の場合,偽の場合)」が入力されます。

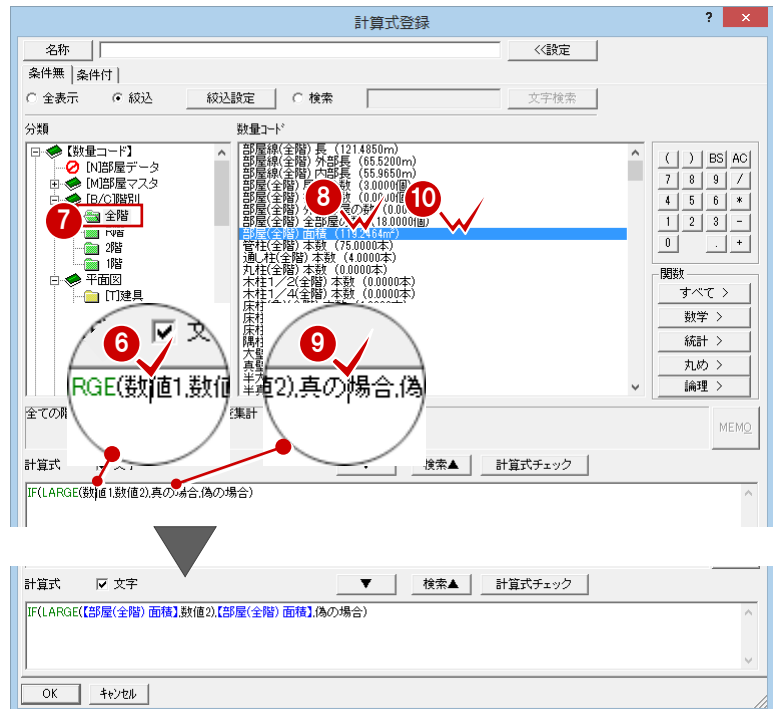


## 2 自社用テンプレートの作成

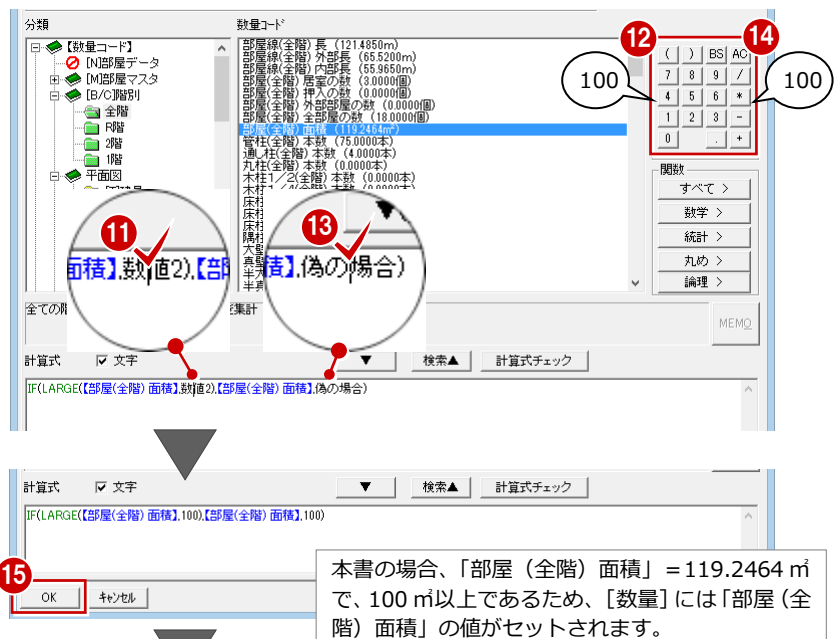
- 4 「論理式」部分をクリックしてカーソルを移動します。
- 5 [関数]の[論理]メニューから[LARGE(数値1,数値2)]を選びます。  
[計算式]の「論理式」部分が「LARGE(数値1,数値2)」に置き換わります。



- 6 「数値 1」にカーソルを移動します。
- 7 左側のツリーから「[B/C] 階別」の中にある「全階」を選びます。
- 8 右側の数量コード一覧から「部屋 (全階) 面積」をダブルクリックします。  
[計算式]の「数値 1」部分が「【部屋 (全階) 面積】」に置き換わります。
- 9 「真の場合」にカーソルを移動します。
- 10 数量コード一覧から「部屋 (全階) 面積」をダブルクリックします。  
[計算式]の「真の場合」部分が「【部屋 (全階) 面積】」に置き換わります。



- 11 「数値 2」にカーソルを移動します。
- 12 テンキーを使って、順に [1] [0] [0] をクリックして、「100」と入力します。
- 13 「偽の場合」にカーソルを移動します。
- 14 テンキーを使って、順に [1] [0] [0] をクリックして、「100」と入力します。
- 15 [OK] をクリックします。



### カンマ ( , ) を入力するには

関数に入力する数値や論理式などはカンマ ( , ) で区切ります。間違ってもカンマを削除した場合は、[すべて]のボタンからカンマを入力できます (キーボードからの入力も可能)。

本書の場合、「部屋 (全階) 面積」 = 119.2464 m<sup>2</sup> で、100 m<sup>2</sup>以上であるため、[数量]には「部屋 (全階) 面積」の値がセットされます。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	基本	仮設	仮設トイレ	簡易水洗式	1.0000	式[021]	45,760	57,200
2	基本	仮設	外部足場(シート貼、外し含む)	延床面積100㎡未満は100㎡	119.2500	m <sup>2</sup> [014]	1,000	1,250
3								
4								

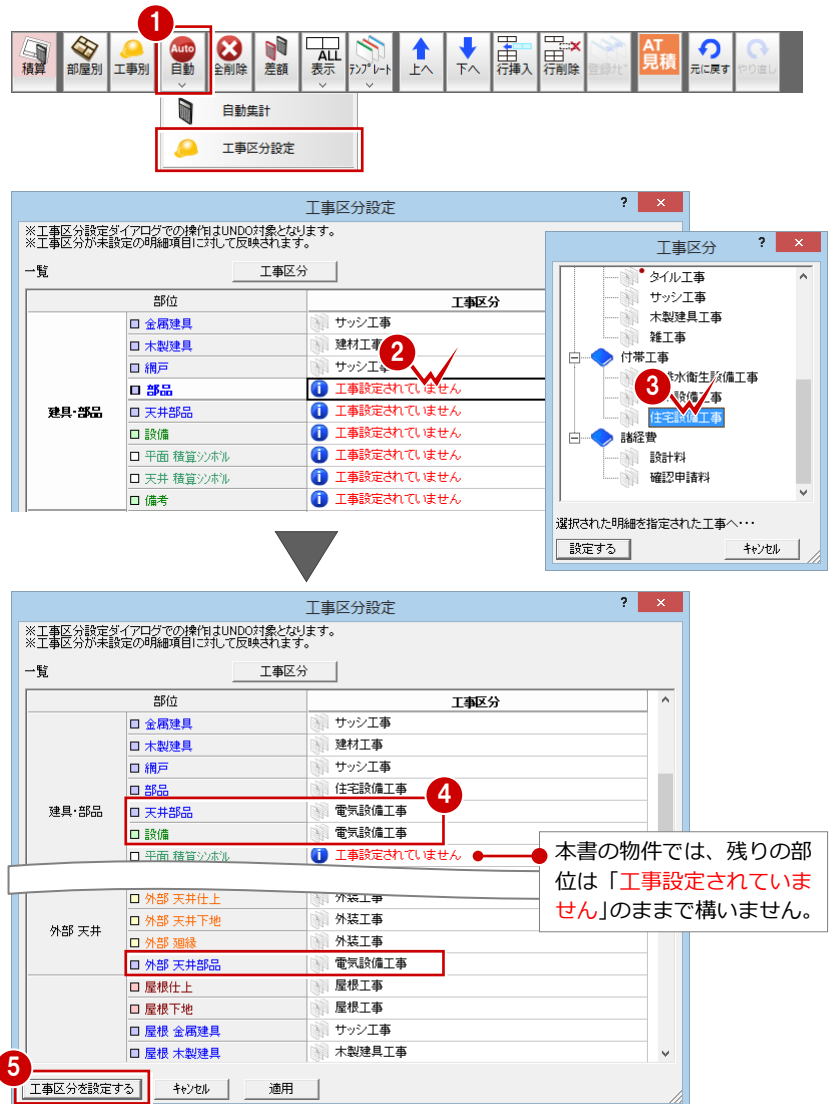
## 2-7 自動集計項目への工事区分の割り当て

工事区分を新規に追加した場合、積算項目にはこれらの工事区分が割り当てられていません。

ここでは、【外部】【部屋・建具・部品】の自動集計対象の積算項目に対して、部位一覧で工事区分を設定しましょう。

### 工事区分を割り当てる

- 1 [自動] メニューから [工事区分設定] を選びます。
- 2 [工事区分設定] ダイアログで、工事区分が未設定の部位（ここでは「建具・部品」にある「部品」）をダブルクリックします。
- 3 [工事区分] ダイアログのツリーから割り当てる工事区分（ここでは「住宅設備工事」）をダブルクリックします。
- 4 同様に、右図の部位に工事区分を割り当てます。
- 5 すべて設定を終えたら、[工事区分を設定する] をクリックします。  
この時点で、工事区分の設定が集計の方に反映されます。



### 「工事設定されていません」について

積算しない部位の工事区分は、未設定のままでも構いません。

ただし、[工事区分設定] ダイアログの「備考」や「外部備考」が「工事設定されていません」となっている場合は、明細を追加したとき、手動で工事区分を設定する必要があります（【部屋・建具・部品】の明細を手動で追加した場合、部位は「備考」になり、【外部】の明細の場合、部位は「外部備考」になるため）。

### 明細の名称や単価を確認する

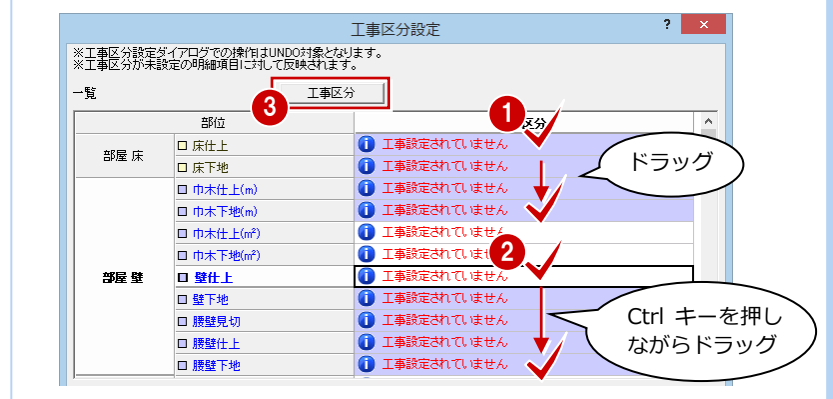
【外部】【部屋・建具・部品】で自動集計された明細を確認し、0円となっている明細の単価を設定して、赤字の明細をなくしていきましょう。

### 複数の工事区分をまとめて設定するには

連続している項目に対して同じ工事区分を設定する場合は、選択範囲の開始位置から終了位置までドラッグすると、その範囲を複数選択できます。

連続していない項目に対して同じ工事区分を設定する場合は、2つ目以降の選択の際に Ctrl キーを押しながらクリックすると、指定した項目だけを複数選択できます。

連続している項目と連続していない項目に対して同じ工事区分を設定する場合は、ドラッグと Ctrl キーを使いながらドラッグすると、指定した項目だけを複数選択できます。



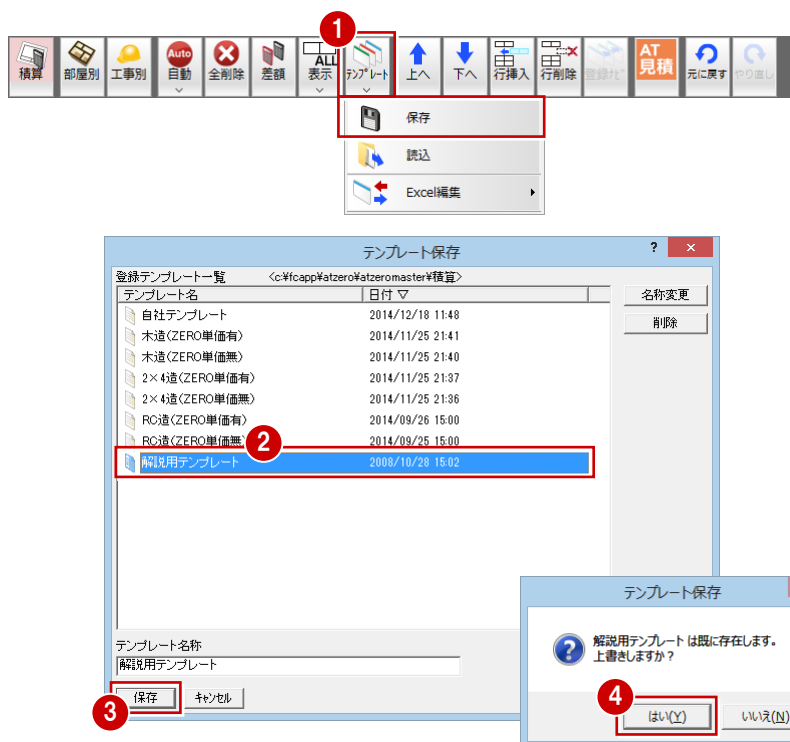
## 2-8 データの保存

テンプレートが完成したら、テンプレートを上書き保存しましょう。

### テンプレートに保存する

- 1 [テンプレート] メニューから [保存] を選びます。
- 2 [テンプレート保存] ダイアログの一覧から上書きするテンプレートを選びます。
- 3 [保存] をクリックします。
- 4 確認画面で [はい] をクリックします。

**単価を変えたテンプレートを作成するには**  
テンプレートの単価だけを変更して、別名でテンプレート保存することで、別仕様(グレード違い)のテンプレートを作成できます。同じ物件で、グレードごとに見積金額をシミュレートしたいときなどに使用すると便利です。



### データを保存する

テンプレート用に作成したデータを残しておきたいときは、手間なし積算のデータも保存しておきましょう。

- 1 ツールバーの [上書き保存] をクリックしてデータを保存します。



## 3

# テンプレートとマスタの関係

図面から集計されるデータは、テンプレート、そして仕上や部屋マスタと、部屋マスタにある設備情報が関係しています。

ここでは、テンプレートとマスタの関係について解説します。

## 3-1 テンプレートとマスタ No の関係

単価が設定されていて、かつ数量が計上された状態で項目が集計されてくるには、テンプレートの明細と図面に入力されている仕上・建具・部品データのマスタ No (番号) が大きく関係しています。

ここではマスタ No との関係についてみてみましょう。

### マスタ No (番号) とは

#### - ZERO のマスタの場合 -

マスタ No とは、内壁仕上マスタなど各マスタダイアログにある [No.] を指します。



#### - アーキマスタの場合 (建具・部品) -

アーキマスタのマスタ No は、次の 2 種類の方法で確認します。

- アーキマスタの [建具選択] ダイアログで建具を選択して、キーボードの F11 キーを押すと、[共通情報] ダイアログの [KeyID] で確認できます。



- アーキマスタの [建具選択] ダイアログで、キーボードの F10 キーを押すと、一覧表示が品名からマスタ No (番号) に切り替わります。

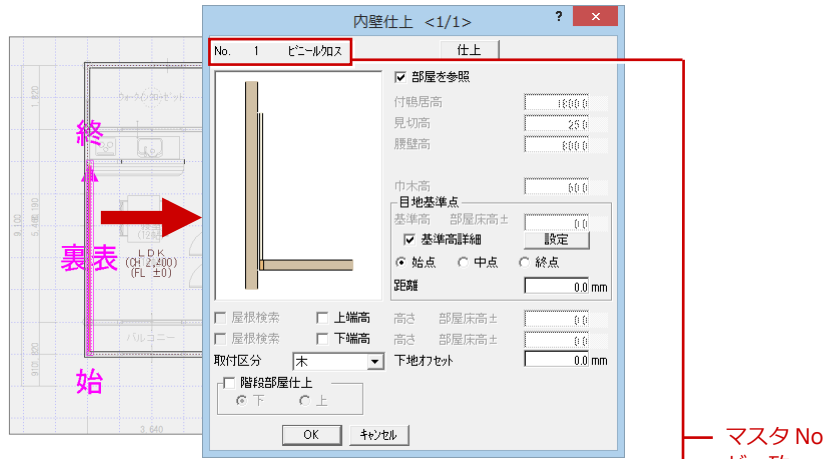


**マスタ No の一致と不一致**

図面とテンプレートでマスタ No が一致しているとき、その項目の数量が集計されます。

**- 図面でのマスタ No 確認 -**

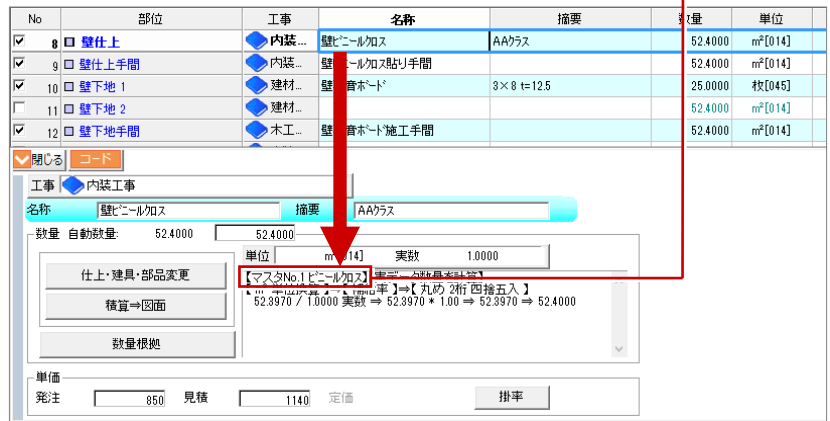
平面図などで配置されているデータの属性変更ダイアログで確認します。  
右図は、平面図（壁仕上入力モード）で、LDKの内壁仕上のマスタ No を確認したものです。



**- 手間なし積算でのマスタ No 確認 -**

手間なし積算で、集計された項目の詳細パネルで確認します。

右図のように、マスタ No が一致したとき、その項目の数量が集計されます。  
マスタ No が異なる場合、数量は集計されず、テンプレートにない項目として、新たに赤字で集計されることになります。



このとき、次の項目の数量が集計されます。

名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
壁ビニール加工	AAｸﾗｽ	52.4000	m <sup>2</sup> [014]	850	1140

⇒ 名称・摘要の連動については、P.45 参照

**図面とテンプレートでマスタ No が異なる場合**

例えば、平面図でマスタ No.1 の「ビニール加工」を使用せず、自社で作成したマスタ No.45 の「I加工」を使用した場合、次のように項目が集計されます。

名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
I加工		52.4000	m <sup>2</sup> [014]	0	0
壁ビニール加工	AAｸﾗｽ	0.0000	m <sup>2</sup> [014]	850	1140

- ※ 出荷標準の内壁仕上マスタに「I加工」はありません。
- ※ 平面図の他の部屋で「ビニール加工」の使用がない場合

**【黒字の集計項目】**

テンプレートと図面のデータのマスタ No が一致していると、数量が集計されます。

**【赤字の集計項目】**

テンプレートにはありませんが、図面にはデータが存在するため（マスタ No の不一致）、集計されたものです。数量は拾われていますが、単価が設定されていないため、赤字になります。

**【灰色の集計項目】**

テンプレートには項目がありますが、図面にはデータが存在しないものです。テンプレートで単価は設定されていますが、数量が拾われてこないため、灰色になります。

⇒ 明細の表示色については、P.7 参照

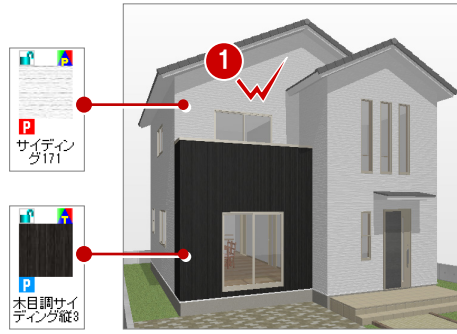


**同じ No の外壁仕上が2つある場合**

本物件（プラン作成編の物件）の外壁仕上では、次の2種類の素材を使用しています。

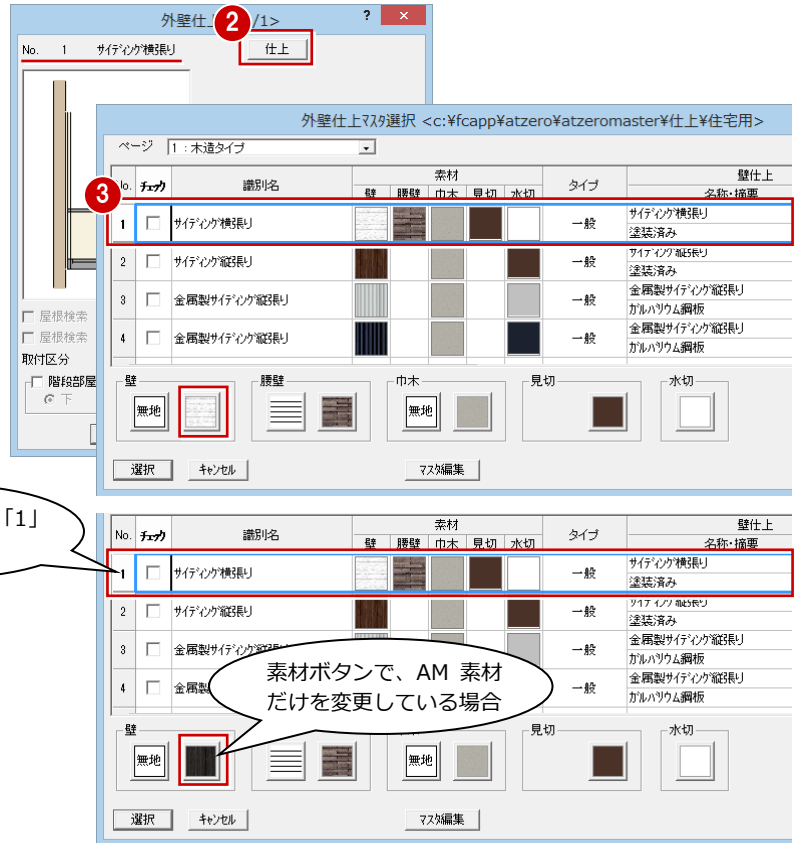
- ・ AM 素材「サイディング 171」
- ・ AM 素材「木目調サイディング縦3」

このような外壁仕上があるときの集計についてみましょう。



**- 仕上データとマスタ No の確認 -**

パースモニタを起動して、この2つの外壁仕上の属性を確認すると、同じマスタ No「1」のものを使用していることがわかります。



**- この外壁仕上を集計すると -**

同じマスタ No の外壁仕上のため、同じ項目で数量を集計してしまいます。

金額が異なる場合、素材別に集計したい場合など、別々に集計したいときは、1つの外壁仕上を別のマスタ No に変更する必要があります。

⇒ 外壁仕上を別々に集計する方法については、P.47 参照



**クロス単価が異なる場合**

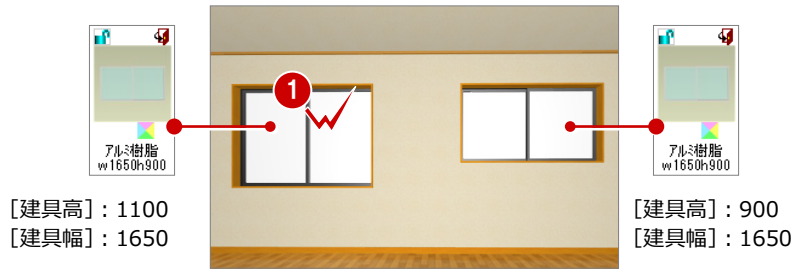
例えば、寝室と洋室でクロス単価が異なる場合、外壁仕上と同様に、寝室と洋室で異なるマスタ ID の仕上に変更する必要があります。逆に、寝室・洋室で別々に集計されているものを1つにまとめて集計するには、同じマスタ No の仕上にする必要があります。

### 3 テンプレートとマスタの関係

#### 同じ No の建具が 2 つある場合

例えば、同じマスタ No の建具を使用しているが、右図のように建具高や建具幅などを変えて入力しているときの集計についてみてみましょう。

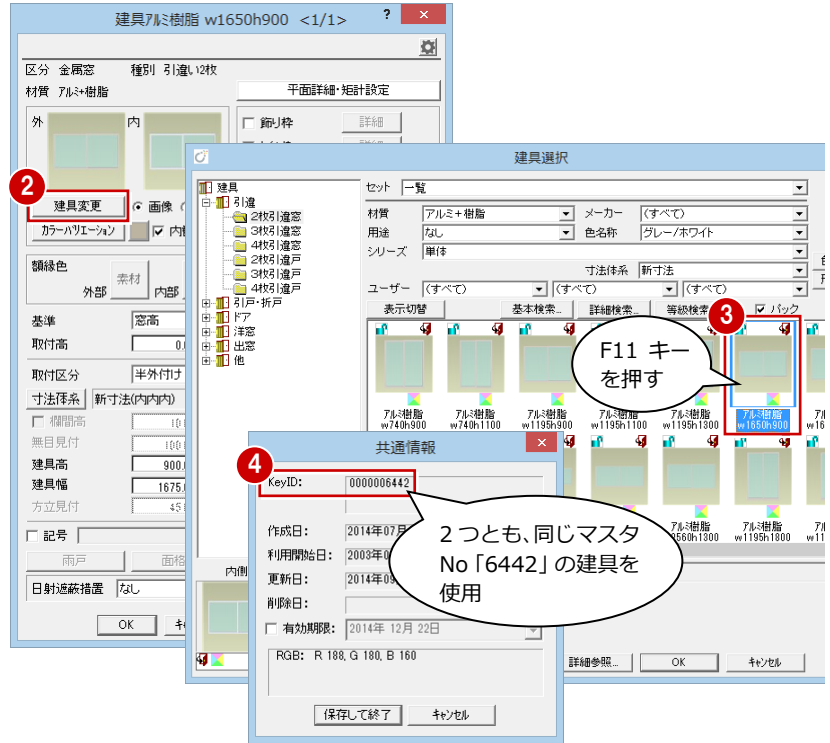
※ 本物件（プラン作成編の物件）には、このような建具はありません。



#### - AM 建具のマスタ No の確認 -

AM 建具（AM 部品も同様）のマスタ No を確認するには次のようにします。

- ① 建具属性変更ダイアログを開きます。
- ② [建具変更] をクリックします。  
[建具選択] ダイアログでは現在の建具が選択された状態になっています。
- ③ この状態で F11 キーを押します。
- ④ [共通情報] ダイアログの [KeyID] を確認します。



#### - この建具を集計すると -

建具は、積算表示では別々に集計されますが、同じマスタ No の建具であるため、同じ建具と判断して、工事区分別表示では同じ項目で集計され、結果、数量が「2」となってしまいます。

建具高、建具幅が異なる場合は、通常金額も異なりますので、別々に集計するには、別のマスタ No の建具に変更する必要があります。

#### AM 部品について

部品も建具と同じ扱いです。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位
23	金属建具 1	金属	2枚引違窓	単体 アルミ樹脂複合 w1650h900	1.0000	組[024]
24	金属建具 2	金属			1.0000	m[018]
25	金属建具 3	金属			1.0000	組[024]
26	金属建具 手間	木工	外部建具取付手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]
27	金属建具 下枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	1.7200	m[018]
28	金属建具 左右枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	1.9400	m[018]
29	金属建具 上枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	1.7200	m[018]
30	金属建具 枠手間	木工	窓枠施工手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]
31	網戸	金属	網戸	アルミ樹脂 w1650h900	1.0000	組[024]
32	金属建具 1	金属	2枚引違窓	単体 アルミ樹脂複合 w1650h900	1.0000	組[024]
33	金属建具 2	金属			1.0000	m[018]
34	金属建具 3	金属			1.0000	組[024]
35	金属建具 手間	木工	外部建具取付手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]
36	金属建具 下枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	1.7200	m[018]
37	金属建具 左右枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	2.3400	m[018]
38	金属建具 上枠(m)	新建	無目枠	ケージが含む	1.7200	m[018]
39	金属建具 枠手間	木工	窓枠施工手間	W1800まで	1.0000	ヶ所[030]
40	網戸	金属	網戸	アルミ樹脂 w1650h900	1.0000	組[024]

工事 金属製建具工事

名称 2枚引違窓 摘要 単体 アルミ樹脂複合 w1650h900

数量 自動数量: 1.0000 1.0000

単位 組[024] 整数 1.0000

仕上・建具・部品変更

積算⇒図面

数量根拠

単価

発注 32490 見積 40620 定価

【積算表示】

工事区分別表示ではまとめて集計

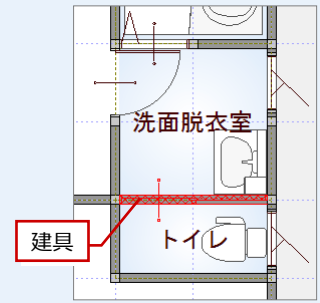
No	名称	摘要	数量	単位	発注単価	発注金額	見積単価	見積金額
45	2枚引違窓	単体 アルミ樹脂複合 w1650h900	2.0000	組[024]	32,490	64,980	40,620	81,240
94	網戸	アルミ樹脂 w1650h900	2.0000	組[024]	15,000	30,000	20,000	40,000

【工事区分別表示（金属建具工事）】

### 【補足】建具の集計条件について

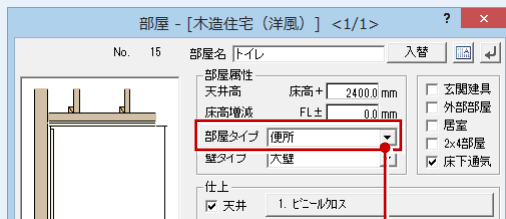
部屋間に入力されている建具（右図の洗面脱衣室とトイレの間の建具）は、どちらの部屋に集計されるのかをみてみましょう。

次図は、建具集計における部屋属性の部屋タイプの優先度を示したもので、部屋の部屋タイプを比較して、部屋タイプが上位にある部屋に建具が集計されます。



#### - 部屋属性の部屋タイプ優先度 -

部屋タイプは部屋属性ダイアログの「部屋タイプ」で設定し、次表のように集計の優先度（プログラム固定）が決められています。



【部屋属性ダイアログ】

優先度：高

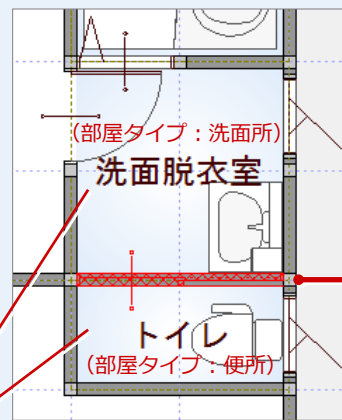


優先度：低

優先	【部屋タイプ】
1	浴室(ユニットバス)
2	浴室(在来)
3	小屋裏収納
4	押入
5	収納
6	ウォークインクローゼット
7	便所
8	脱衣室
9	洗面所
10	床の間・仏間
11	縁側
12	和室
13	書斎
14	居間
15	寝室
16	子供室
17	洋室
18	食事室
19	台所
20	その他
21	玄関
22	勝手口
23	車庫等
24	吹抜
25	階段室
26	ホール・廊下
27	共有階段
28	共有ホール・廊下
29	バルコニー(製作)
30	バルコニー(既製)

#### - 部屋タイプの優先度比較による結果 -

次図は、建具の集計結果を示したものです。この場合、トイレ（部屋タイプ：便所）と洗面脱衣所（部屋タイプ：洗面所）の間の建具は、部屋タイプが上位にある「トイレ」側に集計されることになります。



部屋タイプを比較  
便所 > 洗面所

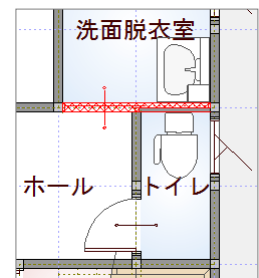
この建具（片引戸）は、「トイレ」に集計されることになります。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	
<input checked="" type="checkbox"/>	35	木製建具 1	片引戸 Aタイプ	W1644_H2024	1.0000	
<input type="checkbox"/>	36	木製建具 2			1.0000	
<input type="checkbox"/>	37	木製建具 3			1.0000	
<input checked="" type="checkbox"/>	38	木製建具 手間	内部建具取付	既成品、戸当り取付含む	1.0000	
<input type="checkbox"/>	39	木製建具 下枠(m)			1.7200	
<input type="checkbox"/>	40	木製建具 左右枠(m)			4.0000	
<input type="checkbox"/>	41	木製建具 上枠(m)			1.7200	
<input type="checkbox"/>	42	木製建具 枠手間			1.0000	
<input checked="" type="checkbox"/>	43	部品	給排水	便器3	シャワートイレ・タケ付	1.0000

【トイレの集計結果】

#### 複数の部屋の間に入力されている場合

右図のように複数の部屋の間に入力されている場合は、部屋タイプに関係なく、部屋の入力順によって洗面脱衣室、またはトイレに集計されます。



#### 同じ部屋タイプ同士の場合

- ・ 部屋面積が大きいほうに集計されます。
- ・ 部屋面積も同じ場合は、建具の入力方向に対して右側の部屋に集計されます。

## 3-2 部屋マスタの設備情報

コンセントや換気扇など部屋の設備は、部屋属性にある設備情報を参照して集計します。  
ここでは、部屋設備の集計についてみてみましょう。

### 設備の集計（マスタ No の一致）

設備情報と手間なし積算でマスタ No が一致しているとき、その項目の数量が集計されます。

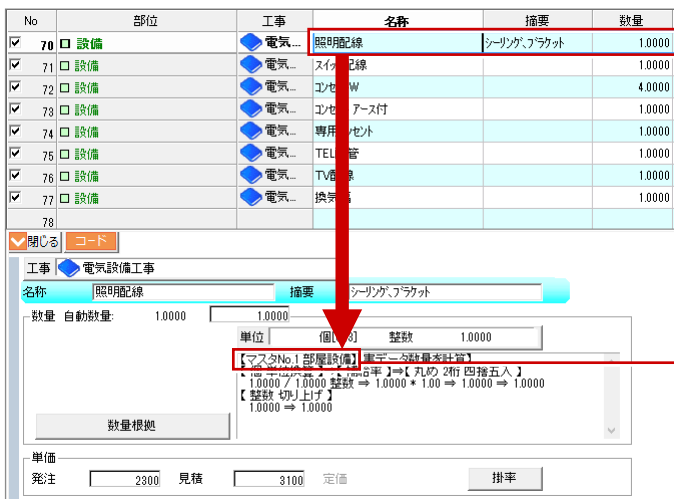
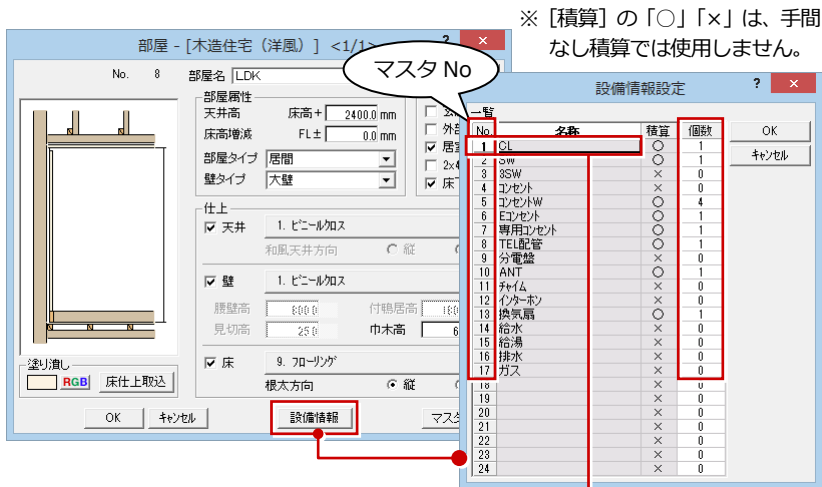
#### - 図面でのマスタ No 確認 -

平面図の部屋属性ダイアログの [設備情報] をクリックして表示される [設備情報設定] ダイアログで、個数が 0 以外の設備とマスタ No を確認します。

#### - 手間なし積算でのマスタ No 確認 -

手間なし積算で、集計された項目の詳細パネルで確認します。

右図のように、マスタ No が一致したとき、その項目の数量が集計されます。  
マスタ No が異なる場合、数量は集計されず、テンプレートにない項目として、新たに赤字で集計されることとなります。

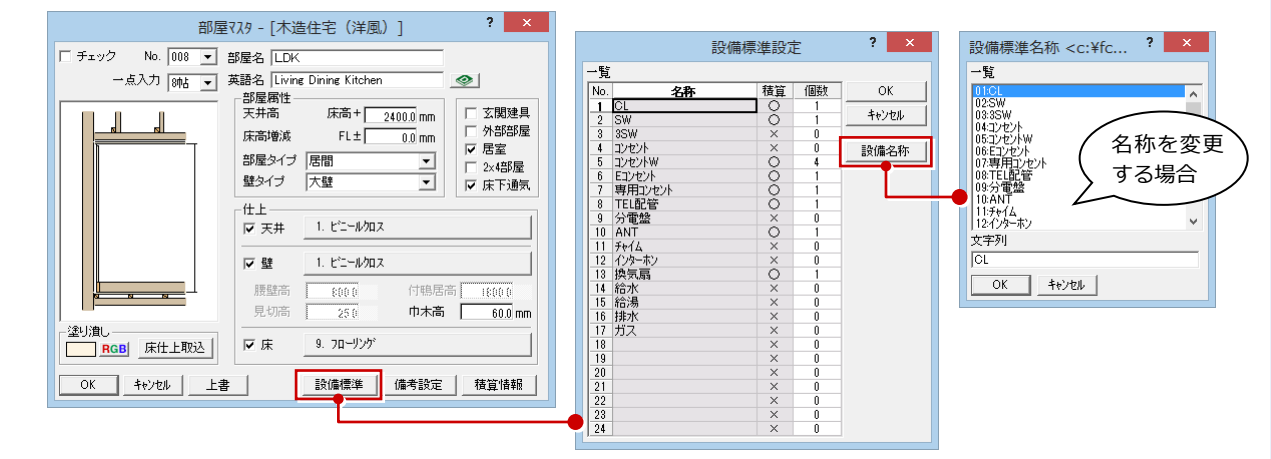


このとき、次の項目の数量が集計されます。 ⇒ 名称・摘要の連動については、P.45 参照

名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
照明配線	シーリング、ブラケット	1.0000	個[023]	2300	3100

### 設備情報の名称と個数の初期値

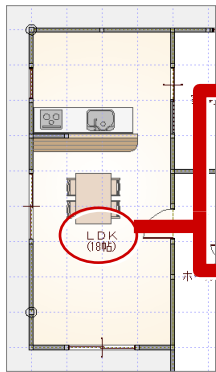
[設備情報設定] ダイアログの設備名称、設備の個数（初期値）は、部屋マスタの [設備標準] で設定します（24 種まで登録可）。  
※ 設備名称は、さらに [設備標準設定] ダイアログの [設備名称] で設定します。



### 3-3 明細の名称と摘要の連動

図面データとテンプレートのマスタ No が一致する場合（テンプレートに項目がある）と、一致しない場合（テンプレートに項目がない）では、明細の [名称] [摘要] の内容が異なってきます。

次図は、LDK の床仕上とテンプレートのマスタ No が一致した場合と一致しなかった場合の明細の [名称] の違いを示したものです。



テンプレート A で集計  
(図面データとテンプレートのマスタ No が一致した場合)

No	部位	工事	名称	摘要
1	床仕上	◆ 新建...	床フローリング	t=15
2	床仕上手間	◆ 木工...	床フローリング施工手間	

テンプレート側で設定されている [名称] が連動する。

テンプレート B で集計  
(図面データとテンプレートのマスタ No が一致しなかった場合)

No	部位	工事	名称	摘要
1	床仕上	◆ 建材...	床WPCフローリング合板	t=15
2	床仕上手間	◆ 木工...		

図面データで使用しているマスタの内容から連動する。

※ テンプレートを使わずに自動集計する場合も同様の結果になります。(⇒ P.28 参照)

#### 一致しない場合の名称と摘要

このとき、明細の [名称] と [摘要] には何が連動してくるのかをみてみましょう。

No	部位	工事	名称	摘要
1	床仕上	◆ 建材...	床WPCフローリング合板	t=15
2	床仕上手間	◆ 木工...		
3	巾木仕上(m)	◆ 新建...	巾木木製既製品	
4	巾木仕上(m)手間	◆ 木工...		
5	巾木下地(m) 1	◆ 建材...		
6	巾木下地(m) 2	◆ 建材...		
7	巾木下地(m)手間	◆ 木工...		
8	壁仕上	◆ 内装...	壁ビニールクロス	AA95ス
9	壁仕上手間	◆ 内装...		
10	壁下地 1	◆ 建材...	PB下地	t=12.5
11	壁下地 2	◆ 建材...		
12	壁下地手間	◆ 木工...		
13	天井仕上	◆ 内装...	天井ビニールクロス	AA95ス
14	天井仕上手間	◆ 内装...		
15	天井下地 1	◆ 建材...	PB下地	t=9.5
16	天井下地 2	◆ 建材...		
17	天井下地手間	◆ 木工...		
18	廻縁	◆ 新建...	廻縁 壁底目地	
19	廻縁手間	◆ 木工...		
20	廻縁下地 1	◆ 建材...		
21	廻縁下地 2	◆ 建材...		
22	廻縁下地手間	◆ 木工...		
23	金網建具 1	◆ 金網...	引違い12枚 アルミ樹脂 w1650h1100	GY2M16511WH
24	金網建具 2	◆ 金網...		
25	金網建具 3	◆ 金網...		
26	金網建具 手間	◆ 金網...		
27	金網建具 下枠(m)	◆ 新建...		
28	金網建具 左右枠(m)	◆ 新建...		
29	金網建具 上枠(m)	◆ 新建...		
30	金網建具 枠手間	◆ 木工...		
31	網戸	◆ 金網...	網戸引違い12枚 アルミ樹脂 w1650h1100	
32	金網建具 1	◆ 金網...	引違い12枚 アルミ樹脂 w1650h2000	GY2M16520WH
33	金網建具 2	◆ 金網...		
67	部品 2	◆ 住宅...		
68	部品 3	◆ 住宅...		
69	部品 4	◆ 住宅...		
70	設備	◆ 電気...	ICL	
71	設備	◆ 電気...	SW	
72	設備	◆ 電気...	コンセントW	
73	設備	◆ 電気...	コンセント	
74	設備	◆ 電気...	専用コンセント	
75	設備	◆ 電気...	TEL配管	
76	設備	◆ 電気...	ANT	
77	設備	◆ 電気...	換気扇	

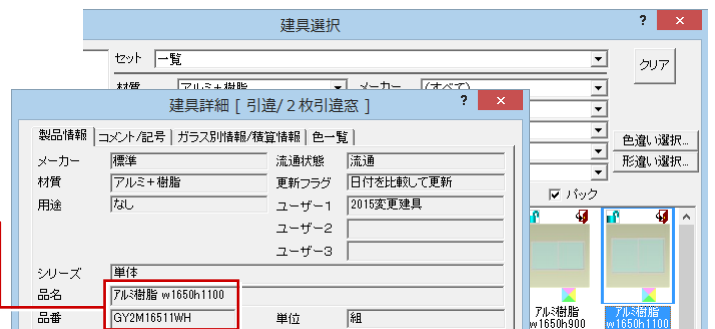
#### 設備の場合

部屋マスタの設備情報の [名称] が連動します。



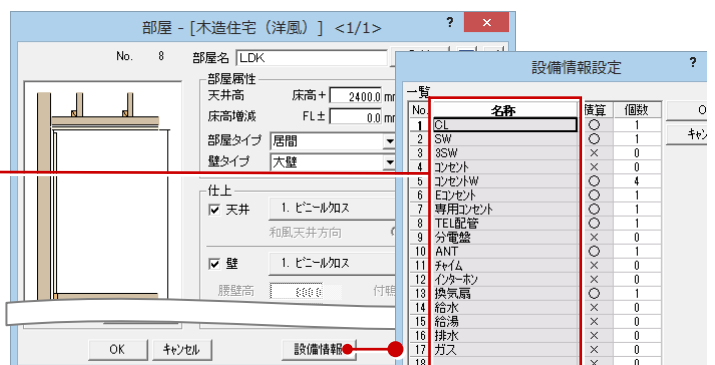
#### 仕上マスタの場合

仕上マスタの [名称] と [摘要] が連動します。部位によって「壁：」「天井：」「床：」が [名称] の先頭に付きます。



#### AM 建具の場合

Archi Master 建具の [品名] と [品番] が連動します。「引違い12枚」のように、種別が [名称] の先頭に付きます。



## 3-4 数量と単位換算

例えば、石膏ボードの枚数を算出する場合、実データから算出された仕上面積 (m<sup>2</sup>) を、ボードの1枚あたりの面積 (m<sup>2</sup>) で換算して枚数を算出します。これを単位換算といいます。

ここでは、壁下地で使用している「石膏ボード」を例に、数量と単位換算についてみてみましょう。

### 単位換算の確認

単位換算が行われている場合、詳細パネルで

[枚 単位換算]

52.3970 / 2.1600

のような表記を確認できます。

[数量根拠]を確認すると、「52.3970」は内壁仕上の面積 (m<sup>2</sup>) であることがわかります。また、この石膏ボードは、[摘要] から「3×8版」のボード、[単位] が「枚」であることがわかります。

手間なし積算では、この3×8版ボードの場合、ボード1枚あたりの面積を

$$0.9\text{m} \times 2.4\text{m} = 2.16\text{m}^2$$

として、仕上面積を換算して枚数 (整数) を算出しています。

$$52.3970 / 2.1600 = 24.2579 \Rightarrow 25\text{枚}$$

### 枚数の算出について

単純に面積をボード1枚あたりの面積で割っているだけです。実際の割付作業 (真物、切物の積算) ではないので注意してください。

### 換算率の設定箇所

- 1 詳細パネルの [単位] をクリックします。
- 2 [単位設定] ダイアログで [換算率表示] をクリックします。
- 3 換算率を変更する場合は、[編集モード] にチェックを付けます。

### 整数・実数・0.5単位による換算結果の違い

[単位設定] ダイアログの [情報] で、換算結果の扱いを設定できます。

情報
整数
実数
0.5単位

「整数」: 換算結果を整数で扱います。

$$52.3970 / 2.1600 = 24.2579 \Rightarrow 25\text{枚 (切り上げ)}$$

「実数」: 換算結果の数値をそのまま実数で扱います。

$$52.3970 / 2.1600 = 24.2579$$

「0.5単位」: 換算結果の数値を0.5単位で扱います。

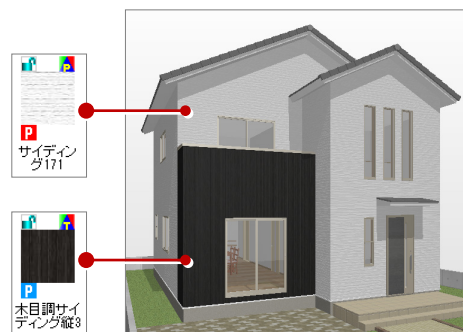
$$52.3970 / 2.1600 = 24.2579 \Rightarrow 24.5\text{枚 (切り上げ)}$$

# 1 仕上の異なる外壁仕上を別々に集計するには

本物件（モデル作成編の物件）のように2つの外壁仕上がある場合に、これらを別々に集計する方法を解説します。

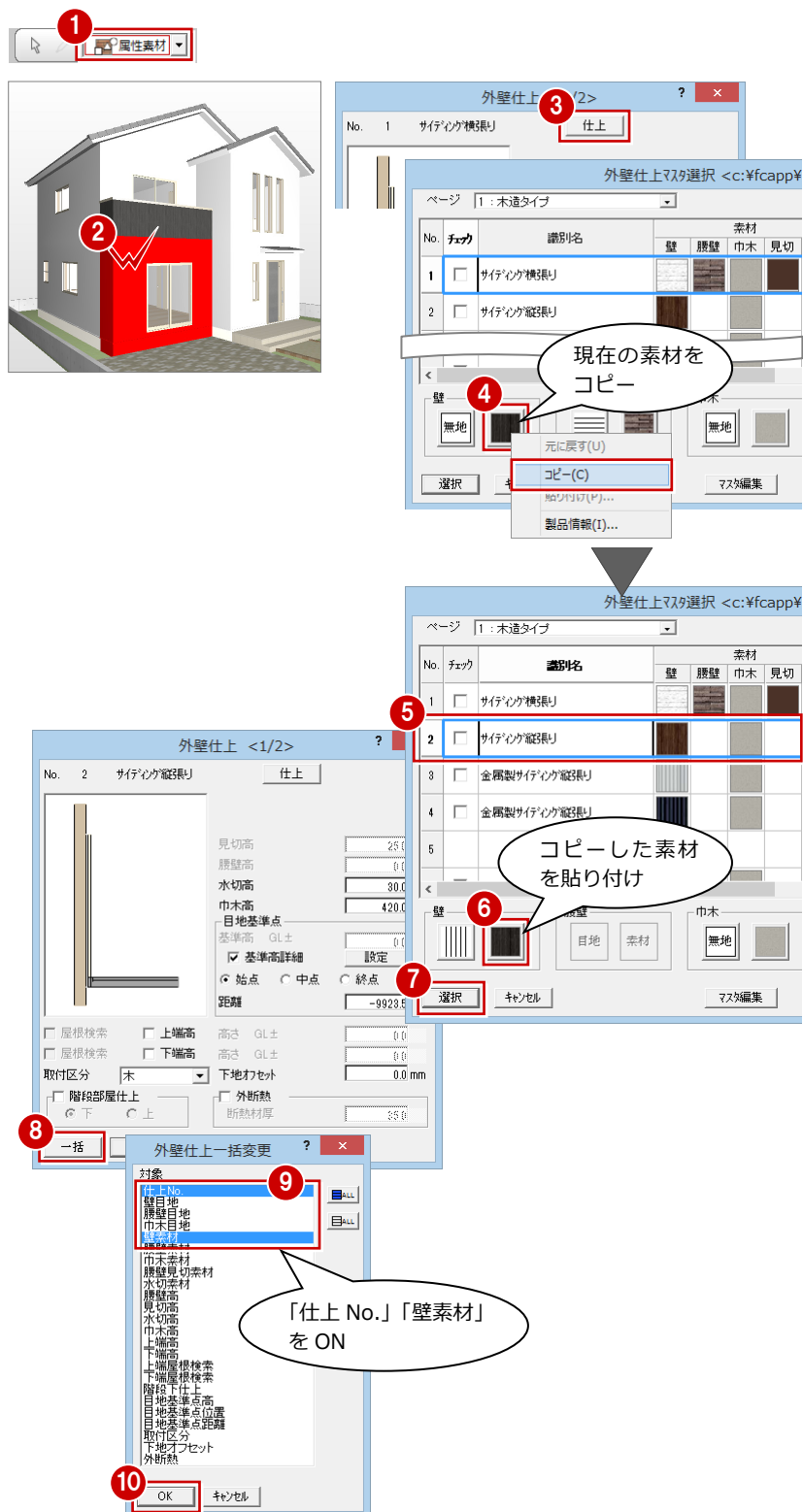
別々に集計するには、仕上マスタのNoを異なるものに変更します。

※ 本物件では、外壁仕上マスタ「No.1」で、右図のAM素材「サイディング171」と「木目調サイディング縦3」を使用していますが、「木目調サイディング縦3」の仕上を出荷マスタ「No.2」に変更してみましょう。



## 外壁仕上のマスタ No を変更する

- 1 パースモニタを開いて、選択方法を「属性素材」に変更します。
- 2 「木目調サイディング縦3」を使用している外壁仕上をダブルクリックします。
- 3 [外壁仕上] ダイアログの [仕上] をクリックします。
- 4 素材ボタン上で右クリックして [コピー] を選び、素材をコピーしておきます。
- 5 [外壁仕上マスタ選択] ダイアログで「No.2」の外壁仕上をクリックします。
- 6 素材ボタン上で右クリックして [貼り付け] を選び、素材を貼り付けます。
- 7 [選択] をクリックします。
- 8 [外壁仕上] ダイアログの [一括] をクリックします。
- 9 [外壁仕上一括設定] ダイアログの「仕上 No.」「壁素材」をONの状態にします。
- 10 [OK] をクリックします。



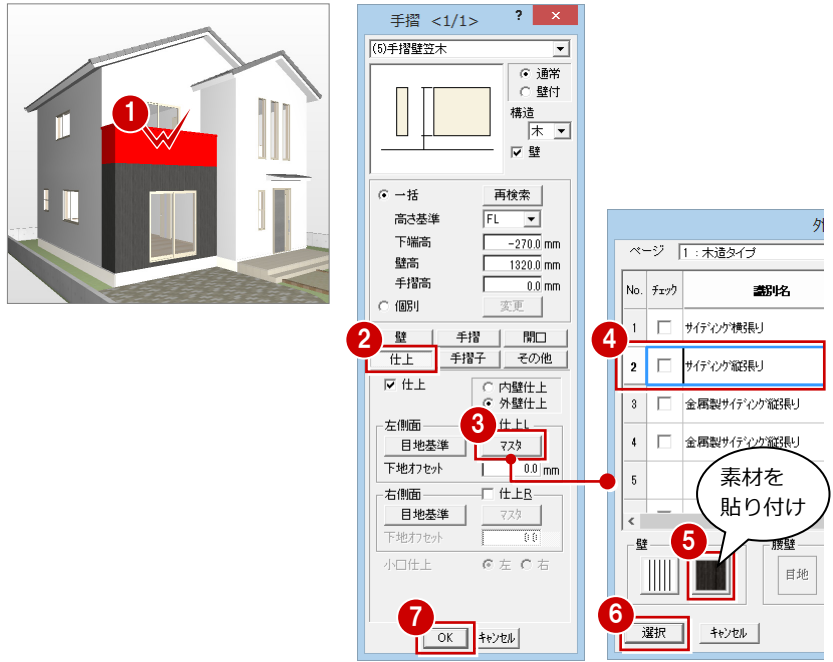
### この操作は

仕上の属性変更で、別のマスタ No.のものに変更する操作は、現在の仕上厚（下地厚）と同じものに限ります。

仕上厚が異なる場合は、平面図で [仕上] メニューの [壁仕上再作成] を使って仕上を再作成する必要があります。

**バルコニー手摺のマスタ No を変更**

- 1 バルコニー手摺をダブルクリックします。
- 2 [手摺] ダイアログの [仕上] をクリックします。
- 3 [マスタ] をクリックします。
- 4 [外壁仕上マスタ選択] ダイアログで「No.2」の外壁仕上をクリックします。
- 5 素材ボタン上で右クリックして [貼り付け] を選び、素材を貼り付けます。
- 6 [選択] をクリックします。
- 7 [手摺] ダイアログの [OK] をクリックします。



**手間なし積算を再集計する**

- 1 [自動] メニューから [自動集計] を選びます。
- 2 [自動] ダイアログで [積算テンプレートより集計を行います] にチェックが入っていることを確認します。
- 3 登録テンプレート一覧から「木造 (ZERO 単価有)」を選びます。
- 4 [開始] をクリックします。
- 5 削除の確認画面で、[はい] をクリックします。



マスタ No.1 の  
外壁仕上

マスタ No.2 の  
外壁仕上

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
1	外部 巾木仕上	左官	基礎外刷毛引	材工共	12.1400	m <sup>2</sup> [014]	3,200	4,300
2	外部 巾木仕上手間	左官			12.1400	m <sup>2</sup> [014]	0	0
3	外部 水切	外装	土台水切	カー鉄板	28.8000	m[013]	2,000	2,700
4	外部 水切手間	外装	土台水切取付		28.8000	m[013]	300	450
5	外部 壁仕上	外装	サイディング	スタコ調 16mm	171.9000	m <sup>2</sup> [014]	4,300	5,730
6	外部 壁仕上手間	外装	サイディング施工手間	襦袢張り	171.9000	m <sup>2</sup> [014]	1,850	2,450
7	外部 壁下地 1	木工	通気断縁		171.9000	m <sup>2</sup> [014]	200	270
8	外部 壁下地 2	建材	外壁下地 構造用合板	3×9 12mm	71.0000	枚[046]	3,200	4,300
9	外部 壁下地手間	木工	外壁下地施工手間		171.9000	m <sup>2</sup> [014]	1,000	1,400
10	外部 壁見切	外装	中間水切	カー鉄板	0.0000	m[013]	2,200	3,000
11	外部 壁見切手間	外装	中間水切取付		0.0000	m[013]	300	450
12	外部 壁見切手間	外装			0.0000	m <sup>2</sup> [014]	0	0
13	外部 壁見切手間	外装			0.0000	m <sup>2</sup> [014]	0	0
14	外部 壁見切手間	建材			0.0000	m <sup>2</sup> [014]	0	0
15	外部 壁見切手間	建材			0.0000	m <sup>2</sup> [014]	0	0
16	外部 壁見切手間	木工			0.0000	m <sup>2</sup> [014]	0	0
17	外部 巾木仕上	左官	基礎外刷毛引	材工共	1.9100	m <sup>2</sup> [014]	3,200	4,300
18	外部 巾木仕上手間	左官			1.9100	m <sup>2</sup> [014]	0	0
19	外部 水切	外装	土台水切	カー鉄板	4.6500	m[013]	2,000	2,700
20	外部 水切手間	外装	土台水切取付		4.6500	m[013]	300	450
21	外部 壁仕上	外装	サイディング	スタコ調 16mm	10.1000	m <sup>2</sup> [014]	4,300	5,730
22	外部 壁仕上手間	外装	サイディング施工手間	襦袢張り	10.1000	m <sup>2</sup> [014]	2,100	2,800
23	外部 壁下地 1	木工	通気断縁		10.1000	m <sup>2</sup> [014]	200	270
24	外部 壁下地 2	建材	外壁下地 構造用合板	3×9 12mm	5.0000	枚[046]	3,200	4,300



－ マスタ No.1 の外壁仕上 －

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
5	外部 壁仕上	外装...	サイディング	スタコ調 16mm	171.9000	m <sup>2</sup> [014]	4,300	5,730
6	外部 壁仕上手間	外装...	サイディング施工手間	横張り	171.9000	m <sup>2</sup> [014]	1,850	2,450
7	外部 壁下地 1	木工...	通気胴縁		171.9000	m <sup>2</sup> [014]	200	270
8	外部 壁下地 2	建材...	外壁下地 構造用合板	3×9 12mm	71.0000	枚[046]	3,200	4,300
9	外部 壁下地手間	木工...	外壁下地施工手間		171.9000	m <sup>2</sup> [014]	1,850	2,450

工事 外装工事

名称 サイディング 摘要 スタコ調 16mm

数量 自動数量: 171.9000 171.9000

単位 m<sup>2</sup>[014] 実数 1.0000

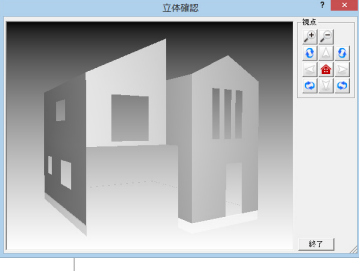
仕上・建具・部品変更

積算⇒図面

数量根拠

【マスタNo.1 サイディング横張り】 実データ数量を計算  
 171.9000 / 1.0000 実数 ⇒ 171.8993 \* 1.00 ⇒ 171.8993 ⇒ 171.8993

単価 発注 4300 見積 5730 定価 推率



－ マスタ No.2 の外壁仕上 －

- ※ 出荷テンプレートに、No.1 と No.2 の外壁仕上の単価が設定されているため、黒字で集計されます。
- ※ No.1 と No.2 の外壁仕上を区別できるように、[名称] または [摘要] を変更しておくといでしょう。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
21	外部 壁仕上	外装...	サイディング	スタコ調 16mm	10.1000	m <sup>2</sup> [014]	4,300	5,730
22	外部 壁仕上手間	外装...	サイディング施工手間	縦張り	10.1000	m <sup>2</sup> [014]	2,100	2,800
23	外部 壁下地 1	木工...	通気胴縁		10.1000	m <sup>2</sup> [014]	200	270
24	外部 壁下地 2	建材...	外壁下地 構造用合板	3×9 12mm	5.0000	枚[046]	3,200	4,300
25	外部 壁下地手間	木工...	外壁下地施工手間		10.1000	m <sup>2</sup> [014]	1,850	2,450

工事 外装工事

名称 サイディング 摘要 スタコ調 16mm

数量 自動数量: 10.1000 10.1000

単位 m<sup>2</sup>[014] 実数 1.0000

仕上・建具・部品変更

積算⇒図面

数量根拠

【マスタNo.2 サイディング縦張り】 実データ数量を計算  
 10.1000 / 1.0000 実数 ⇒ 10.1000 \* 1.00 ⇒ 10.1000 ⇒ 10.1000

単価 発注 4300 見積 5730 定価 推率



－ マスタ No.2 の外部手摺 －

- ※ 出荷テンプレートに、No.2 の外部手摺の単価は設定されていないため、赤字で集計されます。
- ※ 単価などを編集して、テンプレートに保存しておくといでしょう。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位	発注単価	見積単価
33	外部手摺	外装...	壁サイディング縦張り	塗装済み	11.7300	m <sup>2</sup> [014]	0	0
34	外部手摺 手間	外装...	壁サイディング縦張り		11.7300	m <sup>2</sup> [014]	0	0
35	外部手摺 下地 1	建材...	通気胴縁		11.7300	m <sup>2</sup> [014]	0	0
36	外部手摺 下地 2	建材...	壁サイディング縦張り		11.7300	m <sup>2</sup> [014]	0	0
37	外部手摺 下地 手間	木工...	壁サイディング縦張り		11.7300	m <sup>2</sup> [014]	0	0

工事 外装工事

名称 壁サイディング縦張り 摘要 塗装済み

数量 自動数量: 11.7300 11.7300

単位 m<sup>2</sup>[014] 実数 1.0000

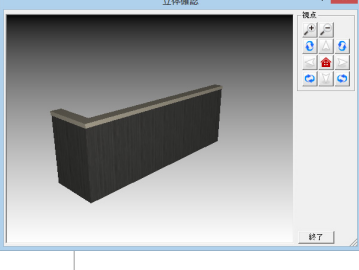
仕上・建具・部品変更

積算⇒図面

数量根拠

【マスタNo.2 サイディング縦張り】 実データ数量を計算  
 11.7300 / 1.0000 実数 ⇒ 11.7300 \* 1.00 ⇒ 11.7300 ⇒ 11.7300

単価 発注 0 見積 0 定価 推率





- 7 セルと明細詳細パネルで、マスタ No が変更されたことを確認します。

**再集計の必要性（壁仕上開口面積の反映）**

建具の単価（テンプレートとマスタ No が一致した場合）と数量までは、この時点で明細に反映されますが、今回のように建具高が変わるような建具の変更の場合、壁仕上の開口面積まで変更されることとなります。しかし、この仕上の開口面積部分は、図面に反映して壁仕上を再作成してからでないと計測できません。そのため、図面への反映を行い、その後で再集計を行います。

建具（マスタ No.6445）の明細がテンプレートにないため、単価が設定されていない状態になります。

マスタ No の変更によって、明細が変更された行には「\*」が付きます。この場合、建具が変更されたことにより、建具とペアで集計される網戸も変更されます。

**変更を図面に反映する**

マスタ No の変更を図面に反映し、その後、再集計します。

- 1 [積算⇒図面] をクリックします。
- 2 [現在の状態で再集計を行います。表示行位置は調整されます] にチェックを入れます。
- 3 [数量を自動数量で上書する] にチェックが付いていることを確認します。
- 4 [開始] をクリックします。図面への反映を行い、反映後に再集計されます。

No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位
8	壁仕上	内装...	壁ビニールクロス	AAクロス	52.4000	m <sup>2</sup> [014]
9	壁仕上手間	内装...	壁ビニールクロス貼り手間		4.4000	m <sup>2</sup> [014]

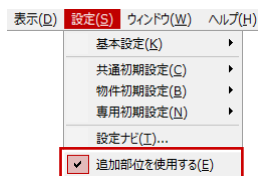
No	部位	工事	名称	摘要	数量	単位
8	壁仕上	内装...	壁ビニールクロス	AAクロス	51.7100	m <sup>2</sup> [014]
9	壁仕上手間	内装...	壁ビニールクロス貼り手間		0.7100	m <sup>2</sup> [014]

※ 建具高の変更による開口部の面積が、内壁仕上、下地材の数量に反映されます。

# 3 自動集計される項目

平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図のデータから自動集計される項目は、次の通りです。

※ 表中の「●」は、[設定]メニューの[追加部位を使用する]がONのときに有効になる部位です。[追加部位を使用する]のON/OFFの情報は、テンプレートに保存されます。



[部屋・建具・部品]・・・内部データから自動集計されるもの

図面	部位名	説明
平面図 (部屋 床)	床仕上	床仕上データの面積を集計 (専用初期設定により、部屋芯での数量集計も可能)
	● 床仕上手間	
	床下地 1	
	● 床下地 2	
平面図 (部屋 壁)	巾木仕上(m)	壁仕上データより巾木長さを集計
	● 巾木仕上(m)手間	
	巾木下地(m)1	
	● 巾木下地(m)2	
	巾木下地(m)手間	壁仕上データより巾木面積を、巾木タイプがタイル、石/モルタルの場合にだけ㎡で集計 (0.5㎡以下の開口は無視)
	● 巾木仕上(㎡)	
	● 巾木仕上(㎡)手間	
	巾木下地(㎡)1	
	● 巾木下地(㎡)2	壁仕上データより壁仕上面積を集計 (0.5㎡以下の開口は無視)
	● 巾木下地(㎡)手間	
	壁仕上	
	● 壁仕上手間	
	壁下地 1	壁仕上データより腰壁の見切長さを集計
	● 壁下地 2	
	● 壁下地手間	
	腰壁見切	
● 腰壁見切手間	壁仕上データより腰壁仕上面積を集計 (0.5㎡以下の開口は無視)	
腰壁仕上		
● 腰壁仕上手間		
腰壁下地 1		
● 腰壁下地 2	内部天井仕上データより仕上面積を集計 (鉛直天井やユニット天井のドーム・かまぼこ等の面積も含む)	
● 腰壁下地手間		
天井仕上		
● 天井仕上手間		
天井伏図 (部屋 天井)	天井下地 1	天井廻縁の長さを集計
	● 天井下地 2	
	● 天井下地手間	
	廻縁	
	● 廻縁手間	部屋ごとの金属建具の個数を集計
	● 廻縁下地 1	
	● 廻縁下地 2	
	● 廻縁下地手間	
	金属建具 1	
	● 金属建具 2	
● 金属建具 3	部屋ごとの金属建具の W 寸法を集計	
● 金属建具 手間		
● 金属建具 下枠(m)	部屋ごとの金属建具の縦寸法を集計	
● 金属建具 左右枠(m)		
● 金属建具 上枠(m)	部屋ごとの金属建具の W 寸法を集計	
● 金属建具 枠手間		
● 金属建具 枠手間	部屋ごとの金属建具の個数を集計	
木製建具 1		
● 木製建具 2	部屋ごとの木製建具の個数を集計	
● 木製建具 3		
● 木製建具 手間		
● 木製建具 下枠(m)		
● 木製建具 左右枠(m)		
● 木製建具 上枠(m)		
● 木製建具 枠手間	部屋ごとの木製建具の W 寸法を集計	
● 木製建具 枠手間		
網戸	部屋ごとの外部建具の個数を集計	
部品		
● 部品 手間	部屋ごとの部品個数を集計	
● 部品 1		
● 部品 2		
● 部品 3		
● 部品 4		

図面	部位名	説明
	天井部品	部屋ごとの天井部品個数を集計
	● 天井部品 手間	
	● 天井部品 1	
	● 天井部品 2	
	設備	部屋データ属性の設備個数を集計
	平面 積算シンボル	部屋ごとの積算シンボルの個数を集計
	天井 積算シンボル	天井ごとの積算シンボルの個数を集計
	備考	備考として集計

【外部】・・・外部データから自動集計されるもの

図面	部位名	説明
平面図 (外部 壁)	外部 巾木仕上	壁仕上データより巾木面積を集計 (0.5 m以下の開口は無視)
	● 外部 巾木仕上手間	
	外部 巾木下地 1	
	● 外部 巾木下地 2	
	● 外部 巾木下地手間	壁仕上データより水切の長さを集計
	外部 水切	
	● 外部 水切手間	壁仕上データより壁仕上面積を集計 (0.5 m以下の開口は無視)
	外部 壁仕上	
	● 外部 壁仕上手間	
	外部 壁下地 1	
	● 外部 壁下地 2	壁仕上データより腰壁の見切長さを集計
	● 外部 壁下地手間	
	外部 腰壁見切	壁仕上データより腰壁仕上面積を集計 (0.5 m以下の開口は無視)
	● 外部 腰壁見切手間	
	外部 腰壁仕上	
	● 外部 腰壁仕上手間	
● 外部 腰壁下地 1	壁仕上データより腰壁下地手間	
● 外部 腰壁下地 2		
● 外部 腰壁下地手間		
天井伏図	外部 天井仕上	外部天井仕上データより仕上面積を集計 (ポーチ天井等の面積も含む)
	● 外部 天井仕上手間	
	外部 天井下地 1	
	● 外部 天井下地 2	
	● 外部 天井下地手間	天井廻縁の長さを集計
	外部 廻縁	
	● 外部 廻縁手間	
	● 外部 廻縁下地 1	
	● 外部 廻縁下地 2	どの部屋にも属さない天井部品個数を集計
	● 外部 廻縁下地手間	
	外部 天井部品	
	● 外部 天井部品 手間	
	● 外部 天井部品 1	どの部屋にも属さない積算シンボルの個数を集計
	● 外部 天井部品 2	
天井 積算シンボル		
屋根伏図	屋根仕上	屋根データより仕上面積を集計
	● 屋根仕上手間	
	屋根下地 1	
	● 屋根下地 2	
	● 屋根下地手間	ドーム建具の金属建具の個数を集計
	屋根 金属建具 1	
	● 屋根 金属建具 2	
	● 屋根 金属建具 3	
	● 屋根 金属建具 手間	ドーム建具の金属建具の W 寸法を集計
	● 屋根 金属建具 下枠(m)	
	● 屋根 金属建具 左右枠(m)	ドーム建具の金属建具の縦寸法を集計
	● 屋根 金属建具 上枠(m)	ドーム建具の金属建具の W 寸法を集計
	● 屋根 金属建具 枠手間	ドーム建具の金属建具の個数を集計
	● 屋根 木製建具 1	ドーム建具の木製建具の個数を集計
	● 屋根 木製建具 2	
	● 屋根 木製建具 3	
	● 屋根 木製建具 手間	
	● 屋根 木製建具 下枠(m)	ドーム建具の木製建具の W 寸法を集計
	● 屋根 木製建具 左右枠(m)	ドーム建具の木製建具の縦寸法を集計
	● 屋根 木製建具 上枠(m)	ドーム建具の木製建具の W 寸法を集計
	● 屋根 木製建具 枠手間	ドーム建具の木製建具の個数を集計
	屋根 網戸	ドーム建具の個数を集計
	● 屋根 部品 手間	屋根伏図の部品個数を集計
	● 屋根 部品 1	
● 屋根 部品 2		

図面	部位名	説明	
屋根伏図	妻壁 仕上	妻壁データより仕上面積を集計	
	● 妻壁 仕上手間		
	妻壁 下地 1		
	● 妻壁 下地 2		
	● 妻壁 下地手間		
	パラベットの外側	パラベットの外側の面積を集計	
	● パラベットの外側 手間		
	パラベットの外側 下地 1		
	● パラベットの外側 下地 2		
	● パラベットの外側 下地手間		
	パラベットの内側	パラベットの内側の面積を集計	
	● パラベットの内側 手間		
	パラベットの内側 下地 1		
	● パラベットの内側 下地 2		
● パラベットの内側 下地手間			
屋根 積算シンボル	屋根伏図の積算シンボルの個数を集計		
平面図 (建具・部品・シンボル)	外部 金属建具 1	平面図のどの部屋にも属さない金属建具の個数を集計	
	● 外部 金属建具 2		
	● 外部 金属建具 3		
	● 外部 金属建具 手間		
	● 外部 金属建具 下枠(m)		平面図のどの部屋にも属さない金属建具のW寸法を集計
	● 外部 金属建具 左右枠(m)		平面図のどの部屋にも属さない金属建具の縦寸法を集計
	● 外部 金属建具 上枠(m)		平面図のどの部屋にも属さない金属建具のW寸法を集計
	● 外部 金属建具 枠手間		平面図のどの部屋にも属さない金属建具の個数を集計
	外部 木製建具 1	平面図のどの部屋にも属さない木製建具の個数を集計	
	● 外部 木製建具 2		
	● 外部 木製建具 3		
	● 外部 木製建具 手間		
	● 外部 木製建具 下枠(m)		平面図のどの部屋にも属さない木製建具のW寸法を集計
	● 外部 木製建具 左右枠(m)		平面図のどの部屋にも属さない木製建具の縦寸法を集計
	● 外部 木製建具 上枠(m)		平面図のどの部屋にも属さない木製建具のW寸法を集計
	● 外部 木製建具 枠手間		平面図のどの部屋にも属さない木製建具の個数を集計
	外部 網戸	平面図のどの部屋にも属さない外部建具の個数を集計	
	外部 部品	平面図のどの部屋にも属さない部品個数を集計	
	● 外部 部品 手間		
	● 外部 部品 1		
	● 外部 部品 2		
	ポーチ 仕様	ポーチ床・側面面積を集計 (積算シンボルと同等な集計方法)	
	● ポーチ 仕様手間		
	ポーチ 下地 1		
	● ポーチ 下地 2		
	● ポーチ 下地手間		
	ポーチ 段鼻(m)	ポーチ段鼻長を集計	
	● ポーチ 段鼻(m)手間		
	外部手摺 巾木長	外部手摺の巾木長さを集計	
	● 外部手摺 巾木長手間		
	外部手摺 巾木	外部手摺の巾木面積を集計	
	● 外部手摺 巾木仕上手間		
	外部手摺 巾木下地 1		
	● 外部手摺 巾木下地 2		
	● 外部手摺 巾木下地手間		
	外部手摺	外部手摺の面積を集計	
	● 外部手摺 手間		
	外部手摺 下地 1		
	● 外部手摺 下地 2		
	● 外部手摺 下地手間		
	外部手摺 腰壁	外部手摺の腰壁部分の面積を集計	
	● 外部手摺 腰壁手間		
外部手摺 腰壁下地 1			
● 外部手摺 腰壁下地 2			
● 外部手摺 腰壁下地手間			
外部手摺 水切	内部手摺の水切長さを集計		
● 外部手摺 水切手間			
内部手摺 巾木長	内部手摺の巾木長さを集計		
● 内部手摺 巾木長手間			
内部手摺 巾木	内部手摺の巾木面積を集計		
● 内部手摺 巾木仕上手間			
内部手摺 巾木下地 1			
● 内部手摺 巾木下地 2			
● 内部手摺 巾木下地手間			

図面	部位名	説明
平面図 (建具・部品・シンボル)	内部手摺	内部手摺の面積を集計
	● 内部手摺 手間	
	内部手摺 下地 1	
	● 内部手摺 下地 2	
	● 内部手摺 下地手間	
	内部手摺 腰壁	内部手摺の腰壁部分の面積を集計
	● 内部手摺 腰壁手間	
	内部手摺 腰壁下地 1	
	● 内部手摺 腰壁下地 2	
	● 内部手摺 腰壁下地手間	
	内部手摺 水切	バルコニーの床面積を集計
	● 内部手摺 水切手間	
	バルコニー 床	
	● バルコニー 床手間	
	バルコニー 床下地 1	
	● バルコニー 床下地 2	バルコニーの天井面積を集計
	● バルコニー 床下地手間	
	バルコニー 天井	
	● バルコニー 天井手間	
	バルコニー 天井下地 1	
	● バルコニー 天井下地 2	出窓壁の屋根面積を集計
	● バルコニー 天井下地手間	
	出窓壁 屋根	
	● 出窓壁 屋根手間	
	出窓壁 屋根下地 1	
	● 出窓壁 屋根下地 2	出窓壁の外壁面積を集計
	● 出窓壁 屋根下地手間	
	出窓壁	
	● 出窓壁 手間	
	出窓壁 下地 1	
	● 出窓壁 下地 2	出窓壁の内壁面積を集計
	● 出窓壁 下地手間	
	出窓壁 内壁	
	● 出窓壁 内壁手間	
	出窓壁 内壁下地 1	
	● 出窓壁 内壁下地 2	出窓壁の地板面積を集計
	● 出窓壁 内壁下地手間	
	出窓壁 地板	
	● 出窓壁 地板手間	
	出窓壁 地板下地 1	
	● 出窓壁 地板下地 2	ロフトの床面積を集計
	● 出窓壁 地板下地手間	
	ロフト 床	
	● ロフト 床手間	
	ロフト 床下地 1	
	● ロフト 床下地 2	ロフトの天井面積を集計
	● ロフト 床下地手間	
	ロフト 天井	
	● ロフト 天井手間	
	ロフト 天井下地 1	
● ロフト 天井下地 2	階段下の巾木長さを集計	
● ロフト 天井下地手間		
階段下 巾木長		
● 階段下 巾木長手間		
階段下 巾木		階段下の巾木面積を集計
● 階段下 巾木手間		
階段下 巾木下地 1		
● 階段下 巾木下地 2		
● 階段下 巾木下地手間		
階段下 壁	階段下の壁面積を集計	
● 階段下 壁手間		
階段下 壁下地 1		
● 階段下 壁下地 2		
● 階段下 壁下地手間		
階段下 腰壁	階段下の腰壁面積を集計	
● 階段下 腰壁手間		
階段下 腰壁下地 1		
● 階段下 腰壁下地 2		
● 階段下 腰壁下地手間		
階段下 見切	階段下の見切の長さを集計	
● 階段下 見切手間		

図面	部位名	説明
平面図 (建具・部品・シンボル)	● 梁 壁	梁の壁面積を集計
	● 梁 壁手間	
	● 梁 壁下地 1	
	● 梁 壁下地 2	
	● 梁 壁下地手間	
	● 梁 外壁	梁の外壁面積を集計
	● 梁 外壁手間	
	● 梁 外壁下地 1	
	● 梁 外壁下地 2	
	● 梁 外壁下地手間	どの部屋にも属さない積算シンボルの個数を集計
● 平面 積算シンボル		
● 外部備考	備考として集計	
配置図	● 配置図 部品	配置図の部品個数を集計
	● 配置図 部品 手間	
	● 配置図 部品 1	
	● 配置図 部品 2	配置図の樹木個数を集計
	● 配置図 樹木	
	● 配置図手摺 巾木長	配置図の外部手摺の巾木長さを集計
	● 配置図手摺 巾木長手間	
	● 配置図手摺 巾木	配置図の外部手摺の巾木面積を集計
	● 配置図手摺 巾木仕上手間	
	● 配置図手摺 巾木下地 1	
	● 配置図手摺 巾木下地 2	
	● 配置図手摺 巾木下地手間	
	● 配置図手摺	配置図の外部手摺の面積を集計
	● 配置図手摺 手間	
	● 配置図手摺 下地 1	
	● 配置図手摺 下地 2	
	● 配置図手摺 下地手間	
	● 配置図手摺 腰壁	配置図の外部手摺の腰壁部分の面積を集計
	● 配置図手摺 腰壁手間	
	● 配置図手摺 腰壁下地 1	
● 配置図手摺 腰壁下地 2		
● 配置図手摺 腰壁下地手間		
● 配置図手摺 水切	配置図の外部手摺の水切長さを集計	
● 配置図手摺 水切手間		
● 配置 積算シンボル	配置図の積算シンボルの個数を集計	

### 手間なし積算では集計しないもの

分類	図面	積算
木造構造材	床小屋伏図	基本データのみからの集計であるため積算不可
木造金物	床小屋伏図	
木造パネル	木造パネル割付図	
2×4 構造材	2×4 床伏図など	
3D 部品 (構造図)	床伏図などの構造図	
造作材・下地材	造作材配置・下地材配置	
S/RC 積算 (RC 躯体積算、鉄骨躯体積算、土工積算)	S/RC 伏図・根切配置	
設備	電気設備図・衛生設備図	図面から集計できないため積算不可 ただし、平面図の部屋属性の【設備情報】を使って積算可能

### 基礎伏図のデータがある場合

木造基礎伏図または2×4基礎伏図に基礎（べた基礎や布基礎など）が入力されている場合は、その数量を集計できます。

例えば、右図のように布基礎が入力されている場合は、布基礎の長さなどの値（数量コード）を計算式に組むことで、求めたい数量を算出することができます。



【基礎伏図】

